

HYOGO・KOBE 2022

ぼうさい こくたい



ぼうさいこくたい
イメージキャラクター
「Bちゃん」

未来につなぐ災害の経験と教訓
～忘れない、伝える、活かす、備える～

同時開催
ALL HAT
ひょうご
防災
フェスタ
2022



人と防災未来センター(東館・西館)

一般・コミュニティゾーン

JICA 関西

企業・行政・専門ゾーン

IHD センタービル

教育・若者・ファミリーゾーン

なぎさ公園

屋外展示ゾーン

令和4年 第7回防災推進国民大会 2022 in 兵庫

10/22^土

10:00～
18:00
屋外展示は17時まで

23^日

10:00～
15:30



大会ホームページはこちら!



内閣府特命担当大臣（防災、海洋政策）

谷 公一

「伝え」「活かし」「備える」

「防災推進国民大会 2022」の開会に当たり、ご挨拶申し上げます。防災推進国民大会、通称「ほうさいこくたい」は、防災に取り組む様々な団体や機関、国民の皆様が一堂に会し、それぞれの知識、経験、技術などを全国的な規模で発信し、交流する国内最大級の防災の総合イベントとして、平成 28 年度にスタートして以来、毎年開催してまいりました。

今年の大会は、近畿圏で開催する初めての大会として、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた兵庫県神戸市で開催することとなりました。メイン会場の「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」は、国内随一の災害ミュージアム研究拠点として大震災後に設立され、今年開設 20 年の節目の年を迎えます。私自身、阪神・淡路大震災をはじめ多くの災害の復旧・復興を経験してきましたが、その災害の経験と教訓は貴重な財産であり、まさに今大会のテーマのとおり、決して「忘れることなく」、次世代に「伝え」、防災・減災にもっと「活かし」、次の災害に「備える」ことが今に生きる私たちの使命です。今回、神戸市でほうさいこくたいを開催することで、阪神・淡路大震災の経験や教訓、創造的復興の過程を発信するだけでなく、全国の災害伝承施設のネットワーク強化や、防災活動の新たな交流が生まれることに繋がれば幸いです。

今年も昨年に続き、現地参加とオンライン参加を組み合わせたハイブリッド形式での開催とさせていただきます。現地で参加する方だけでなく、オンラインで参加する方も含め、全国の防災の担い手がほうさいこくたいに集うことで、防災とともに学び、教訓やノウハウを共有し、連携を深めていただくことを期待しています。

結びに、本大会の開催に当たり格別のご尽力、ご協力をいただいた兵庫県、神戸市、人と防災未来センターをはじめ HAT 神戸の各会場、関係する多くの皆様に深く感謝を申し上げますとともに、大会の成功を心から祈念いたします。



清家 篤 防災推進国民会議議長 防災推進協議会会長（日本赤十字社社長）

27年前に発生した阪神・淡路大震災は、私たち一人ひとりに「自助」「共助」の重要性を強く認識させるきっかけにもなり、防災・減災の大切さを考える原点にもなりました。

近年、災害の多発化や激甚化により、私たちの取り組むべき課題も更に広がりを見せており、その意味で兵庫県での経験と教訓が、被災地における被害の軽減や復旧・復興に活かされてきたことは、高い意義を有するものであります。

本大会を通じて、人々が助け合い、安全で安心して暮らせる地域づくりをさらに進めていくことができますよう、心より期待いたします。



秋本 敏文 防災推進国民会議副議長（日本消防協会会長）

関東大震災以来の大都市直撃地震災害である阪神・淡路大震災において、都市生活様式の変化を背景とした防火防災上の諸課題が顕在化し、この震災は、その後の緊急消防援助隊の創設や地域の防災体制強化への契機となりました。

日本海溝型地震や南海トラフ地震、首都直下地震等の大規模地震の発生に備えた、日頃からの取組や非常時の対応が大きな課題となっています。

この大会が阪神・淡路大震災の経験、教訓を伝え学び、一人ひとりの平時からの防災活動推進のお役にたてればと思います。



齋藤 元彦 兵庫県知事

「防災推進国民大会 2022」がここ兵庫・神戸で開催されます。全国からご参加いただいた皆様を心より歓迎いたします。主会場である「人と防災未来センター」は、阪神・淡路大震災の経験と教訓を国内外に発信する災害ミュージアムであり、研究拠点です。今年、開設から20年の節目を迎えました。

未曾有の被害をもたらした震災から、私たちは多くのことを学びました。自助・共助の大切さ。日頃からの防災・減災の備え。「創造的復興」の歩みをしっかりと継承し、次なる災害に活かしていかなければなりません。

安全で安心な社会づくりに終わりはありません。一人ひとりが家庭や地域などあらゆる場面で防災について考え、行動する。本大会が、そのような「災害文化」のさらなる定着の機会となることを祈念しております。



久元 喜造 神戸市長

阪神・淡路大震災から27年が経過しました。この間、国内外の方々から多くの温かいご支援をいただくことで、復興を果たすことができました。その感謝の気持ちを忘れず、今後も他都市・地域への貢献を果たしてまいります。

また、震災の経験や教訓を風化させず、次世代に継承していくとともに、南海トラフ地震など来たる災害に備えて、防災・減災対策に取り組んでまいります。

「防災推進国民大会 2022」を通じて、復興を遂げた神戸のまちをご覧いただくとともに、防災・減災に関する様々な知見が発信され、多くの方々が防災について考え、行動する機会となることを期待しています。



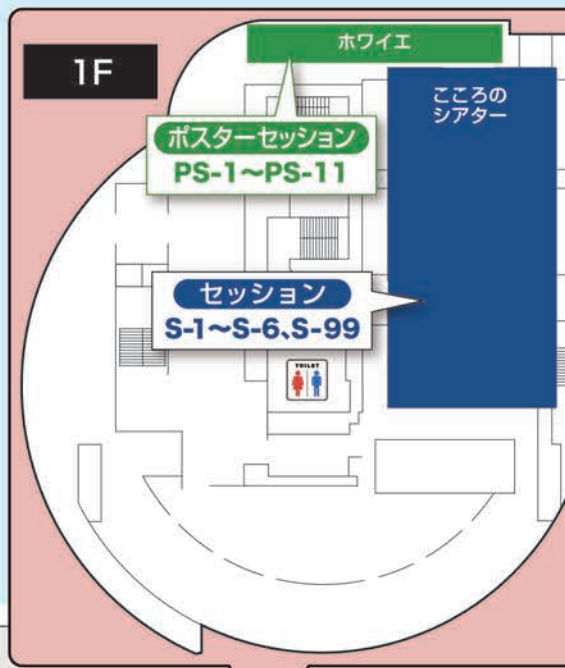
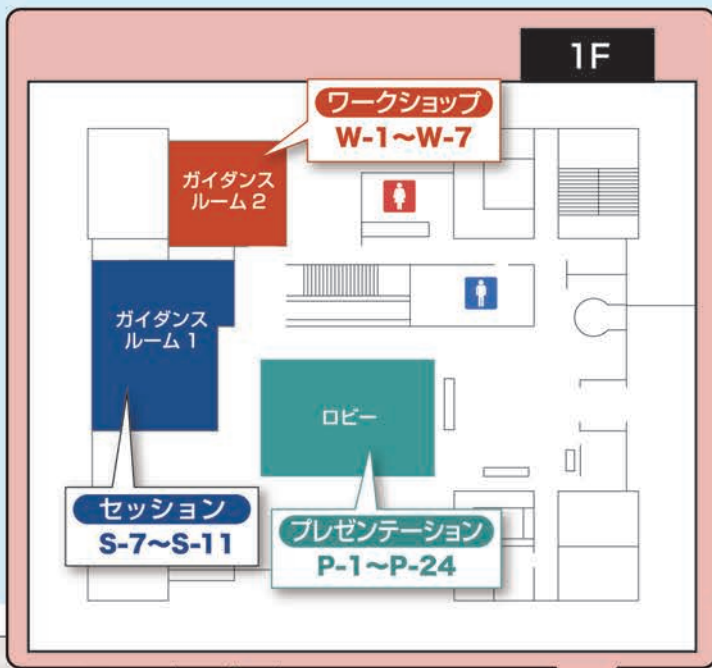
河田 恵昭 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長

国難災害、あるいは大規模化する風水害など、災害は待ったなしです。様々なコミュニティが連携して、今できることに直ちに取り組まなければなりません。

このような折り、当センター開設20周年の節目に、阪神・淡路大震災の創造的復興の成果であるHAT神戸で開催される「防災推進国民大会2022」に全国の皆様をお迎えする機会をいただき心から感謝申し上げます。

当センターは、震災の経験と教訓の発信、実践的な防災研究や人材育成など、世界随一の災害ミュージアムを目指して活動してきましたが、本大会を契機に、さらに災害文化の創造をはじめ一層の活動の充実を図ってまいります。

この新たな防災への挑戦を知り、社会の強靱化への連携を深めていただくことを心より願っております。



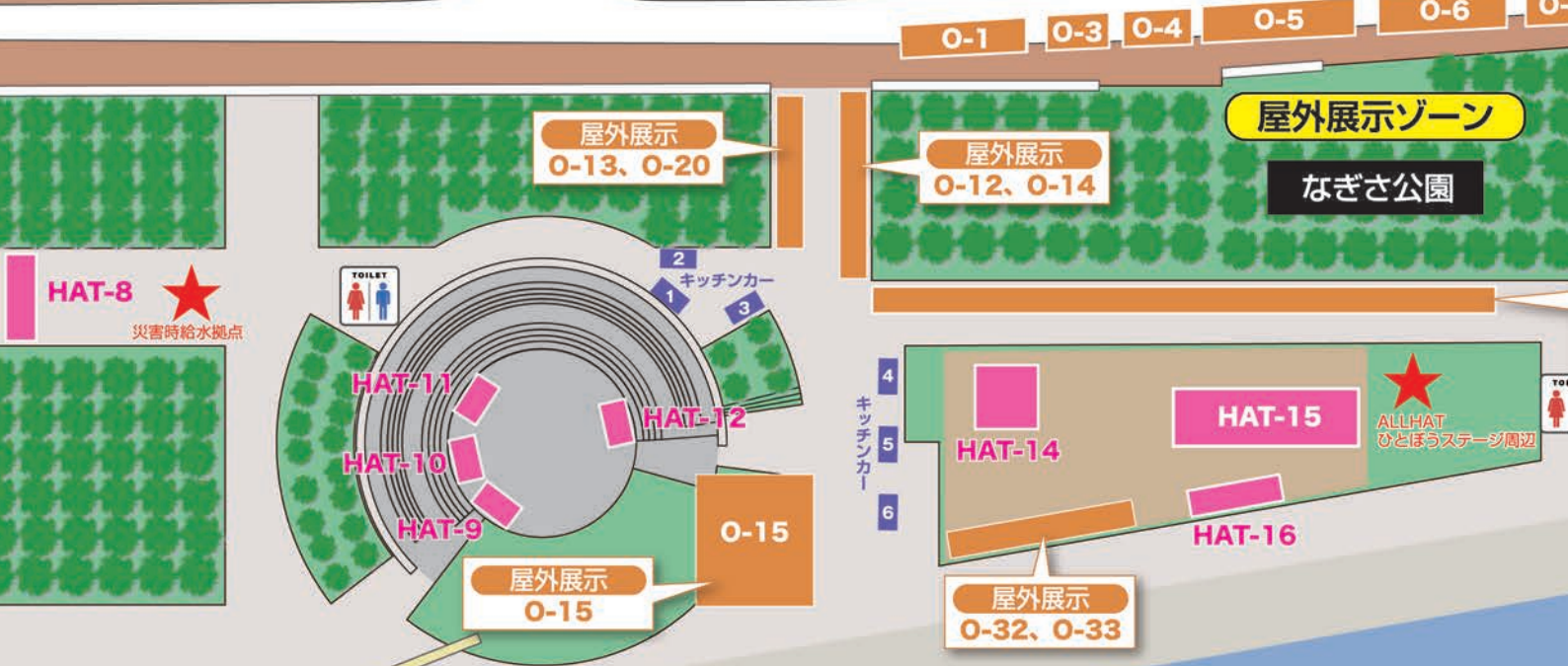
スマホ充電レンタル
「ChargeSPOT」を会場の入口付近に設置しています。

←こちらのマーク

ぼうさいこくたい来場者限定、120時間無料でご使用いただけます。セッション動画配信の視聴などで電池が減っても安心です。※別途デポジットが必要です。

ポケモンぼうさいきょうしつ
スタンプラリーのチェックポイントです。詳しくはP25をチェック！

★ ←こちらのマーク



HAT-13



企業・行政・専門ゾーン

教育・若者・ファミリーゾーン

JICA関西

IHDセンタービル

1FでP-89のプレゼンテーション出展

O-11

屋外展示
O-11

総合インフォメーション

屋外展示
O-1~O-10

O-9 O-10

屋外展示
O-16~O-19
O-21~O-31

■総合インフォメーションでは、以下の案内を実施しています。

- ・会場案内
- ・パンフレット配布
- ・アンケート回答者へ限定グッズ配布 (ぼうさいこくたい 2022 オリジナル耐震パッド)

※アンケートは大会 HP からご回答ください!

■ビジョンカー

- ・会期中、メイン会場となる「こころのシアター」におけるセッションのリアル配信等を実施します。



イメージ

タイムスケジュール

10月22日(土)

	10:30 ~ 12:00	12:30 ~ 14:00	14:30 ~ 16:00	16:30 ~ 18:00	
セッション	人と防災未来センター 東館1F こころのシアター	S-1 オープニングセッション	S-2 ハイレベル セッション	S-3 災害教訓と地域防災	S-4 阪神淡路大震災の経験を 活かす消防防災対策
	人と防災未来センター 西館1F ガイダンスルーム1	オープニング中継映像	S-7 <small>現地企画</small> 震災27年、神戸のリアル ～地域の目線から～	S-8 生態系管理による 防災・減災の取組	S-9 「災害報道サミット」 ～避難を伝える「最前線」の戸惑いと挑戦～
	JICA関西 2F オリエンテーション室	S-32 防災分野への ドローン利用の最前線	S-12 平時における立場を越えた 顔の見える関係づくり(仮称)	S-13 特別支援学校の現状と課題 ～みんなで一緒に助かるために～	S-14 福祉と防災の最前線 ～福祉・防災実務者の視野と視座～
	JICA関西 2F ブリーフィング室	オープニング中継映像	S-17 災害時の活動における支援 者のこころとからだの健康	S-18 21世紀前半に発生が確実視される 国難級災害を乗り越えるための レジリエンス確保のあり方	S-19 「気候変動×防災」～サステイナブルな まちづくり、コミュニティを考える～
	JICA関西 3F セミナー室31・32		S-22 ー1.17+3.11からの教訓ー 長期・広域避難者支援における 災害マネジメントのあり方考える	S-23 災害看護でまちづくり	S-24 災害対策の体系化と災害対策 トレーニングプログラムの構築
	IHDセンタービル 3F 会議室1	オープニング中継映像	S-27 防災教育交流会	S-28 <small>現地企画</small> 全国学生防災シンポジウム inぼうさいこくたい	S-29 KOBE発 防災教育と実践へのチャレンジ ー若者の想い“過去・現在・未来”を知り次 の世代へ発信ー
	オンライン		So-1 過去の災害から得られた教訓 ～現在、そして将来への課題～ So-6 集まれ!防災女性職員とそ の応援団 第2弾 So-11 「昨今の様々な状況を踏まえ たこれからの事業継続」	So-2 WAA ReSCue2年め、 そして未来へ So-7 災害伝承ミュージアム・セッション2022 日本の災害ミュージアムの現在地	So-3 自然災害を取り巻く環境の変化 ～防災科学の果たす役割 So-8 モビリティ・レジリエンス ～災害時のクルマ被災をどうするか?～

10月22日(土)

	12:30 ~ 13:30	14:00 ~ 15:00	15:30 ~ 16:30	17:00 ~ 18:00	
ワークショップ	人と防災未来センター 西館1F ガイダンスルーム2	W-1 子ども食堂防災プロジェクト	W-2 「ぼうさいこくたい2022 防災宣言」を作ろう!	W-3 「さわる、そっからかかんがえる」 : 災厄のミュージアムにおける震災遺 物を用いた対話型ワークショップ	W-4 写真洗浄体験
	JICA関西 3F セミナー室33・34	W-8 災害時における授乳アセスメ ント(聞き取り)を体験しよう	W-9 災害教訓伝承と災害対応マニュアルの最新態 防災ゲーム「ダイレクトロード」 による机上災害対応訓練	W-10 在日外国人が見た日本と外国の防災の違い ～違いを知ることから始める防災協力～	W-11 <small>現地企画</small> Bloom Works×神戸学院大学学生有志 の皆さん×神戸女子大学学生有志の皆さん 「ぼうさいミライ☆すぞろく」
	JICA関西 4F セミナー室41	W-15 「話題のFMB(ファーストミッシ ョンボックス)を体験してみよう」	W-16 みんながつくりたくなる 「災害時個別支援計画」のレシピ ～協働×包摂型の取り組み例を通じて～	W-17 災害発生、さあどうする!? ～時系列で考える災害対応～	W-18 げんさいカフェ inぼうさいこくたい 「みんながやる気になるための 減災コミュニケーション」
	IHDセンタービル 2F 交流ギャラリー南	W-22 BOUSAIゼミな～る in ぼうさいこくたい2022	W-23 「大人から子どもまで、防災を「カ ード」で学び、「カード」でつなごう。	W-24 いつでも・どこでも・だれでも 楽しく防災!	W-25 身近にあるもので手軽に 防災グッズを作ろう
	オンライン		Wo-1 これだけは知っておきたい 災害時の子どもの支援「28の基準」 (人道行動における子ども権利の保護の最低基準)	Wo-2 消防団を盛り上げゼミ 【オンライン市役所】 消防団活動の素朴なギモンと、機械点検ってなに?	Wo-3 防災にダイバーシティの視点を入れ込む ～阪神・淡路大震災以降の女性や 外国人らの参加促進の取組から～

イグナイトステージ

10月22日(土)

12:30 ～ 12:45	12:55 ～ 13:10	13:20 ～ 13:35	13:45 ～ 14:00	14:10 ～ 14:25	14:35 ～ 14:50	15:00 ～ 15:15	15:25 ～ 15:40	15:50 ～ 16:05	16:15 ～ 16:30	16:40 ～ 16:55	17:05 ～ 17:20
IG-1	IG-2	IG-3	IG-4	IG-5	IG-6	IG-7	IG-8	IG-9	IG-10	IG-11	IG-12


10月23日(日)

	10:30 ~ 12:00	12:30 ~ 14:00	14:30 ~ 15:30	
セッション	人と防災未来センター 東館1F こころのシアター	S-5 南海トラフ地震の 本音の話をしましょう!	S-6 「次の大災害に備える! ~ハードウェア・ソフトウェアそして ヒューマンウェアが日本を救う~」	S-99 クロージングセッション
	人と防災未来センター 西館1F ガイダンスルーム1	S-10 避難生活支援と「もれ・むら」 のないコーディネーション	S-11 <small>現地企画</small> 「100年後の共感へ バズる災害伝承をさぐる」	クロージング中継映像
	JICA関西 2F オリエンテーション室	S-15 COVID-19パンデミックに 対する本邦の災害医療対応	S-16 災害レジリエンスの実現に向けて -共創・国際・実装の取組み-	
	JICA関西 2F ブリーフィング室	S-20 「D&I防災をリードする女性 社長と企業経営」	S-21 阪神・淡路大震災時の 対応と復興について ~伝承・行政・消防・災害医療の視点から~	クロージング中継映像
	JICA関西 3F セミナー室31・32	S-25 安全・安心イノベーション創出に 向けた大阪うめだ地区の挑戦	S-26 災害時における超法規的 措置について考える	
	IHDセンタービル 3F 会議室1	S-30 「東日本大震災津波被災地・岩手 における防災の学び」について	S-31 防災教育を科学する	クロージング中継映像
オンライン	So-4 新災害予兆スタイル -逃げるを諦めない、その先へ-	So-5 「事前復興を取り入れたこれか らの地域防災、地区防災」		
	So-9 防災×○○!(楽しみながら 防災を学ぶ工夫や仕掛け)	So-10 地球観測の最新動向と 災害情報の可視化 ・高度化技術の紹介		

TEAM防災ジャパン
- 交流カフェ -



TEAM防災ジャパンでは、ぼうさい
こくたいの開催に合わせて、防災交流
カフェをオープンします。自治体、福祉、
ジェンダー、メディア、災害ボランティア、IT活用など防災の第一線で活躍す
るTEAM防災ジャパンのメンバーがホ
スト役となり、出展者からプログラムの
見所をお聞きしたり、セッションやワ
ークショップ、展示の実況を中継したり、
登壇後の本音を引き出します。ぼうさい
こくたいの裏番組として、多くの方と
ぼうさいこくたいを楽しみ、つながりの
機会を作って盛り上げたいと思ってお
ります。

これから防災について学びたい方、
専門的な知識をさらに深めたい方、ふ
らっと立ち寄ったけれどブースが多く
てどこに行っていいいかわからない方
など、どなたでも大歓迎ですので、ぜひ、
お気軽にお立ち寄りください。人と防
災未来センター東館4階、兵庫県立大
学会議室でお待ちしています!
日時: 10月22日(土)09:30-18:00、
10月23日(日)09:30-17:30
場所: 兵庫県立大学会議室(人と防災
未来センター東館4F)
オンラインで様子をチェック!
URL: [https://bosaijapan.jp/feature/
cafe-bosaikokutai2022](https://bosaijapan.jp/feature/cafe-bosaikokutai2022)



**ポケモン
ぼうさい
きょうしつ**

○開催場所: IHDセンタービル 3階
304セミナールーム
○開催日程: ①10:30~「じしん」
②12:30~「かさい」
③14:30~「おおあめ・たいふう」
④16:30~「じしん」※④は22日のみ開催
○定員
各回20~30名 ※参加多数の場合、
整理券を発行する場合があります
<ご案内>
未就学児向け防災教材「ポケモンぼう
さいきょうしつ」を使って、災害時に身
を守る行動を学ぶ授業を実施するよ。
ポケモンが登場する映像やクイズを通
じて、楽しみながら学ぼう!
授業の最後には、会場にピカチュウが
遊びに来てくれるよ!

※詳細情報はこちら
よりご確認ください

10月23日(日)




	10:30 ~ 11:30	12:00 ~ 13:00	13:30 ~ 14:30	
ワークショップ	人と防災未来センター 西館1F ガイダンスルーム2	W-5 「阪神淡路大震災ヴァーチャ ルツアー ~震災取材カメラ マンと震災の時0歳だった記 者が考える未来の防災~」	W-6 怖くない防災を伝えたい。 お菓子を使った防災講座お いしい防災塾	W-7 地域に根ざしたハザード マップの作成と 様々な地図の見方の紹介
	JICA関西 3F セミナー室33・34	W-12 「いざという時どうなる? あなたの食と栄養」 ~自助・共助・公助 それぞれについて考えよう~	W-13 兵庫県南部地震とはどうい地震?、関西の内陸地 震についてはどこまで分かった?、いまでも何が分 からないのか? 皆さんの疑問に徹底的に答えます	W-14 お天気キャスターに挑戦 ~台風接近!迫りくる 危険を伝えよう~
	JICA関西 4F セミナー室41	W-19 みんなで考えよう! Pon♪Pon♪ 防災・減災スタンプラリー	W-20 第6回災害関連死ゼロサミット みんなの力で 災害関連死をゼロに	W-21 これが最新! 災害図上訓練 DIG
	IHDセンタービル 2F 交流ギャラリー南	W-26 自宅の危険箇所はどこだろう? ~家庭内DIGを使って 確認しよう~	W-27 身近なもので楽しく防災 ワークショップ	W-28 オリジナルカード教材で考えよう! 災害時の「ひなん」と「食の備え」 ~避難行動訓練EVAG、BOSAIカードX(クロス)を使って~

日本赤十字社兵庫支部では屋外展
示と国際健康開発センター9階会議
室でのイベントを行います!日本赤
十字社の救護活動や救急法講習等を体
験することができますので、ぜひご来場
ください!

■「災害救護活動を体験しよう!!!」
赤十字災害救護活動の理解と防災
意識の醸成を目的に、各種救護活動
を体験ができます。(ALLHAT屋外
展示HAT-3、当パンフレットP26を
ご参照ください)

■「あなたは、大切な人を救えます
か?」3つのイベント詳細は、当パン
フレットP25をご参照ください。

URL: [https://www.hyogo.jrc.or.jp/
news/update/2022/08/26/8513/](https://www.hyogo.jrc.or.jp/news/update/2022/08/26/8513/)

イグナイトステージ

10月23日(日)

10:30 ~ 10:45	10:55 ~ 11:10	11:20 ~ 11:35	11:45 ~ 12:00	12:10 ~ 12:25	12:40 ~ 12:55	13:05 ~ 13:20	13:30 ~ 13:45
IG-13	IG-14	IG-15	IG-16	IG-17	IG-18	IG-19	IG-20

セッション

人と防災未来センター 東館1F こころのシアター

S-1

オープニングセッション

●10/22 (土) 10:30~12:00

●人と防災未来センター
東館1Fこころのシアター



①オープニングセレモニー
イントロダクションVTR
「ぼうさいこくたい2022 阪神・淡路大震災の経験
を後世に」
「復興を呼ぶ獅子の舞」神戸中華同文学校 舞
獅隊



②主催者挨拶及び開催地挨拶

谷 公一(内閣府特命担当大臣(防災、海洋政策))
清家 篤(防災推進国民会議議長、防災推進協議会会長)
齋藤 元彦(兵庫県知事)
久元 喜造(神戸市長)

③オープニングディスカッション

テーマ:「未来につなぐ教訓と防災教育」

■登壇者:大木 聖子(慶應義塾大学准教授)、加藤 孔子(岩手大学教育学研究科(教職大学院)特命
教授/いのちをつなぐ未来館館長)、鈴木 あかね(兵庫県立舞子高等学校環境防災科長)、
木村 玲欧(兵庫県立大学環境人間学部・大学院環境人間学研究科 教授)

S-2

ハイレベルセッション「大災害とわたし〜
トップリーダーがつなぐ災害の経験と教訓」

●10/22 (土) 12:30~14:00

●人と防災未来センター
東館1Fこころのシアター



開催地兵庫と国内外の各界を代表するトップ
リーダーの方々から、おひとりおひとりの災
害にまつわる「自分事」の体験とともに、
それぞれのお立場からの防災の取組で何を
意識してきたかをお話しいたします。聞いていただけるみなさんがそれぞれ「自分事」として
防災を深く考え、周囲にも「自分事」として広めていく知恵を共有する機会としたいと考えまし
た。セッションを通じて、災害多発国日本に住む私たちが、改めて災害への備えの大切さを見つ
め直していただくことで、災害の経験と教訓を未来につなぐ一助になることを目指しています。



基調講演:「復興思想の変容と東日本大震災」
・五百旗頭 真 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構・理事長

パネルディスカッション

■登壇者:上村 昇(内閣府大臣官房審議官(防災担当))、齋藤 元彦(兵庫県知事)、阪本 真由美
(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授)、中川 寿子(生活協同組合コープこうべ 常務理
事)、久元 喜造(神戸市長)、水島 真美(国連事務総長特別代表(防災担当)兼国連防災機関長)
、中川 和之(株式会社時事通信社解説委員)

S-3

自治体向け 一般向け

災害教訓と地域防災

●主催:特定非営利活動法人 日本防災士会



●10/22 (土) 14:30~16:00

●人と防災未来センター
東館1Fこころのシアター



セッションはこれまでの大規模災害の教訓を踏まえて、自助・共助の仕組みの推進を図り、地
域の人々の命を守ることを目指して、室崎益輝神戸大学名誉教授、上村靖司長岡技術科学大学
教授等を中心としたシンポジウムを開催します。また、ブース展示により、防災士の活動を紹
介するとともに、自助・共助の推進を啓発します。

■登壇者:原 正之(認定特定非営利活動法人 日本防災士機構)、
室崎 益輝(特定非営利活動法人日本防災士会 理事長)、上村 靖司(長岡技術科学大学 教授)、
田淵 和夫(日本防災士会 大阪府支部長)、大澤 サユリ(日本防災士会 副理事長)、山中 麗子(日
本防災士会 常務理事)

S-4

一般向け

阪神淡路大震災の経験を活かす消防防災対策

●主催:公益財団法人 日本消防協会



●10/22 (土) 16:30~18:00

●人と防災未来センター
東館1Fこころのシアター



関東大震災以来の大都市直撃地震災害である阪神・淡路大震災において、都市生活様式の変化
を背景とした防火防災上の諸課題が顕在化し、この震災は、その後の緊急消防援助隊の創設や
地域の防災体制強化への契機となりました。そして、今、日本海溝型地震や南海トラフ地震、
首都直下地震等の大規模地震の発生に備えた、日頃からの取組や非常時の対応が大きな課題と
なっています。この大会が、阪神・淡路大震災の経験、教訓を伝え学び、一人ひとりの平時か
らの防災活動推進の一層の充実に資することをめざします。

■登壇者:室崎 益輝(兵庫県立大学名誉教授)、田辺 康彦(総務省消防庁国民保護・防災部長)、
遠藤 英二(兵庫県防災監兼危機管理部長、関西広域連合広域防災局長)、鍵本 敦(神戸市消防
局長)、秋本 敏文(公益財団法人日本消防協会会長)

S-5

自治体向け 一般向け

南海トラフ地震の本音の話をしましょう!

●主催:公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター



●10/23 (日) 10:30~12:00

●人と防災未来センター
東館1Fこころのシアター



南海トラフ地震など迫り来る巨大災害をテーマに講演や議論を行う。

1 報告(各15分程度)
2 パネルディスカッション(45分程度)
福和 伸夫 名古屋大学名誉教授
金田 義行 国立大学法人香川大学特任教授 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
副機構長
渡辺 研司 名古屋工業大学大学院社会学専攻教授

■登壇者:福和 伸夫(名古屋大学 名誉教授)、金田 義行(香川大学特任教授 四国危機管理教育・
研究・地域連携推進機構 副機構長 地域強靱化研究センター長 学長特別補佐)、渡辺 研司(名古
屋工業大学大学院社会学専攻 教授、河田 恵昭(人と防災未来センター長)

S-6

自治体向け 一般向け

「次の大災害に備える!〜ハードウェア・ソフト
ウェアそしてヒューマンウェアが日本を救う〜」

●主催:一般社団法人 日本損害保険協会



●10/23 (日) 12:30~14:00

●人と防災未来センター
東館1Fこころのシアター



「次の大災害に備える!〜ハードウェア・ソフトウェアそしてヒューマンウェアが日本を救う〜(案)」
○コーディネーター:室崎 益輝氏(減災環境デザイン室顧問/兵庫県立大学特任教授)
○パネリスト:武田 真一氏(宮城教育大学 特任教授/3.11メモリアルネットワーク 代表)・
大牟田 智佐子(毎日放送 報道情報局 部次長)・伊豆原 孝(日本損害保険協会 常務理事)

■登壇者:室崎 益輝(減災環境デザイン室顧問 兵庫県立大学特任教授)、武田 真一(宮城教育
大学 特任教授 3.11メモリアルネットワーク代表)、大牟田 智佐子(毎日放送 報道情報局 兵庫県
立大学客員研究員)、伊豆原 孝(日本損害保険協会 常務理事)、藤岡 勇貴(サンテレビ ニュ
ースキャスター)

セッション

人と防災未来センター 西館1F ガイダンスルーム1

S-7

現地企画

企業向け 自治体向け

震災27年、神戸のリアル
～地域の目線から～

●主催：ようこそ神戸！
市民プロジェクトチーム

●10/22 (土) 12:30～14:00

●人と防災未来センター
西館1Fガイダンスルーム1

・震災27年の今、心に及ぼす影響（復興の多様性）・高齢化が進む公営住宅の現状（管理者・支援者等の声）・復興まちづくりや支援活動の経緯と現状・地域活動や自主防災計画等の新たな取り組み・震災を知らない世代の取り組み、伝承・防災啓発の多様な災害文化 想定パネリスト：澤田 雅浩氏（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科）、神戸市営住宅管理センター職員、NPO 法人石巻復興支援ネットワーク職員 他

■登壇者：澤田 雅浩（兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授）、兼子 佳恵（一般社団法人りとーと代表理事）、山下 雅光（倉敷市真備支え合いセンター副センター長）、岡野 照美（岡山県倉敷市真備町岡田地区まちづくり推進協議会）、森 章浩（合同会社フォレストランド代表）、西村 真由美（宮崎・地域づくりコーディネーター）、金沢 章子（ケアサポート神戸）、長井 晴子（神戸市営住宅東部管理センター）、石田 裕之（歌手・防災士）

S-8

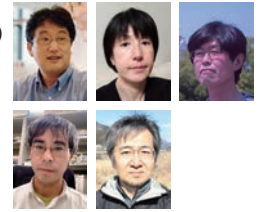
自治体向け 一般向け

生態系管理による防災・減災の取組

●主催：兵庫県気候変動適応センター
（兵庫県・（公財）ひょうご環境創造協会）

●10/22 (土) 14:30～16:00

●人と防災未来センター
西館1Fガイダンスルーム1



生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）のアプローチとして、兵庫の豊かな生態系が有する防災・減災の機能を発揮させることで自然災害リスクを軽減させ、持続可能な地域社会づくりにつながることを認識し、様々な主体の連携による防災力の向上への取組について考える機会とします。県内でEco-DRRに取組むパネリスト4名からの実例紹介により、自然を基盤とした解決策を意識した兵庫県独自の防災・減災の展開も目指します。

■登壇者：三橋 弘宗（兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）、上西 琴子（兵庫県環境部 次長）、山瀬 敬太郎（兵庫県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター 森林活用部 主席研究員 兼部長）、藤木 大介（兵庫県立森林動物研究センター 主任研究員）、佐川 志朗（兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 教授）

S-9

一般向け

「災害報道サミット」
～避難を伝える“最前線”の戸惑いと挑戦～

●主催：関西なますの会
（関西の報道機関有志による災害勉強会）

●10/22 (土) 16:30～18:00

●人と防災未来センター
西館1Fガイダンスルーム1



災害の種類や、発表される地域、季節や社会状況によって内容が変化する「避難」という言葉。そうした状況に直面するたび、メディアで呼びかけるアナウンサーらは少なからず戸惑いを感じているはず。そんな「伝え手の悩み」を研究者らと広く共有し、次なる災害で活かせる効果的な呼びかけ方を考えます。セッションには一般の視聴者にも参加していただき、これからの「リスクコミュニケーションのあり方」を一緒に考えます。

■登壇者：福本 晋悟（毎日放送）、横尾 泰輔（NHK）、生田 明子（信越放送）、山田 理（岩手朝日テレビ）、矢島 学（日本テレビ）、磯打 千雅子（香川大学創造工学部）

S-10

企業向け 自治体向け

避難生活支援と「もれ・むら」
のないコーディネーション

●主催：特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
（JVOAD）

●10/23 (日) 10:30～12:00

●人と防災未来センター
西館1Fガイダンスルーム1



日本のどこで災害が起きても支援の「もれ・むら」をなくし、必要な支援を効果的に届けるため、現在、多様な主体間における連携・協働による避難生活支援の仕組みの構築が進められている。さらに、このシンポジウムにより、我々が目指すべき「被災者支援コーディネーション」とは何かを明らかにすることで、災害中間支援組織によるコーディネーションや都道府県域NW構築など具体的な取り組みを進める。

■登壇者：辛嶋 友香里（ピースポート災害支援センター/現地コーディネーター）、今井 遊子（社会福祉法人 全国社会福祉協議会 政策企画部副部長、災害福祉支援活動推進室長）、村上 威夫（内閣府 政策統括官（防災担当）付 参事官（普及啓発・連携担当））、岸田 育也（兵庫県社会福祉協議会 ひょうごボランティアプラザ 交流支援部長）、栗田 暢之（認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）代表理事）、明城 徹也（認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）事務局長）

S-11

現地企画

一般向け 学生向け

「100年後の共感へ バズる災害伝承をさぐる」

●主催：【現地共同企画】伝承セッション2022

●10/23 (日) 12:30～14:00

●人と防災未来センター
西館1Fガイダンスルーム1



自然災害の語り継ぎについて、地域と世代の異なるパネリストたちと、素朴で身近な問いを探り出し、共に考える時間を作ります。各パネリストの活動報告の後に「問い」を設定し、その問いの進め方についてもその場で工夫しつつ、答えを探ってゆきます。

■登壇者：堀田 ちひろ/湯川 友太（「あすパ・ユース震災語り部隊」メンバー）、永沼悠斗（「3.11メモリアルネットワーク」理事）、米山 正幸（北淡震災記念公園 総支配人）、高井 千珠（震災遺族・上智大学グリーンケア研究所認定臨床講師）、武村 雅之（名古屋大学減災連携研究センター 特任教授）、高原 耕平（人と防災未来センター主任研究員）、藤原 祐弥/松本 乃映/長谷川 侖翔（1.17 希望の架け橋）、藤室 玲治（被災地に学ぶ会 代表 あすパ・ユース語り部隊 副代表）

現地企画・情報共有会議のご紹介

防災の取組では身近な地域のつながりが大切です。しかし、国主催の防災推進国民大会は一般の方には少しハードルが高く、防災を「自分ごと」と捉えていただくためには、まずは地域の皆様と連携し、ともに取り組み、大会を盛り上げていくことが必要だと考えました。そこで、今回初の試みとなる、地元のみなさまを中心に様々な防災関連団体が集う「現地企画・情報共有会議」を開催しました。情報共有会議の中から生まれた新たなつながりが共同企画が生まれ、新しい風となって大会に参加することとなりました。



【現地企画】 現地企画・情報共有会議から生まれたプログラム

【S-7】 震災27年、神戸のリアル～地域の目線から～

【S-11】 100年後の共感へ バズる災害伝承をさぐる

【S-28】 全国学生防災シンポジウム in ぼうさいこくたい

【W-11】 ぼうさいミライ☆すごろく

【O-9】 災害時の医療対応を学ぼう（発災直後から避難時まで）

セッション

JICA関西 2F オリエンテーション室

S-32

専門向け 企業向け 自治体向け
一般向け 子供向け

防災分野へのドローン利用の最前線

●主催：一般社団法人日本ドローン
コンソーシアム



●10/22 (土) 10:30~12:00

●JICA関西 2F
オリエンテーション室



防災・災害状況把握へのドローン利用の最新状況を紹介すると共に、災害時のドローン利用・導入の美利用事例を紹介します。また、当該セッションでは、防災・災害状況把握に最前線で取り組む研究者・事業者が登壇し、事例を紹介させていただきます。特に、各所轄において、ドローンの新たな実践的な導入取組みを紹介させていただきます。

■登壇者：原 孝史（倉敷市副市長）、伊勢 正（防災科学技術研究所）、西川 啓一（iシステムリサーチ株式会社）、須田 信也（株式会社WorldLink& Company）、酒井 直樹（一般社団法人ドローンコンソーシアム理事、防災部会長）、伊東 明彦（一般社団法人ドローンコンソーシアム（JDC）理事・事務局長）

S-12

自治体向け 一般向け

平時における立場を越えた顔の見える関係づくり
(仮称)

●主催：オンライン市役所防災対策課

●10/22 (土) 12:30~14:00

●JICA関西 2F
オリエンテーション室

毎週約 100 名が参加し、5 月末現在 63 回開催している人気コンテンツ「オンライン市役所防災対策公開 MTG（全国の公務員はもとより、自治会や自主防災会、災害ボランティア、企業、学生、有識者等のフラットで双方向の学びの場）」の「ぼうさいこくたいバージョン」を開催。毎週、オンライン上に集う全国の防災関係人口が自ら主体者となって、「ぼうさいこくたい」に向けて双方向で企画を練り上げるプロセスを重視。

S-13

自治体向け 一般向け

特別支援学校の現状と課題
～みんなで一緒に助かるために～

●主催：特別支援学校の災害対策を
考える facebook グループ

●10/22 (土) 14:30~16:00

●JICA関西 2F
オリエンテーション室

特支の災害対策に関わる様々なセクターから、①保護者（湯井@大阪府支援学校 PTA 協議会 OB 会）、②教職員（一杉@静岡県立富士特支）、③行政（木場@大阪府教育庁）、④防災研究（小村@常葉大）の 4 セクターのパネリストを招致し、⑤学識者（青田@兵庫県立大大学院）のコーディネーションの下、まずは特支の現状を知ることから始め、課題を共有した上で、真の共生社会とそこでの特支のあり方について議論します。

S-14

専門向け 自治体向け

福祉と防災の最前線
—福祉・防災実務者の視野と視座—

●主催：一般社団法人 地域安全学会
実務者企画委員会

●10/22 (土) 16:30~18:00

●JICA関西 2F
オリエンテーション室



福祉・防災を巡る行政の取組については、国、都道府県、市町村それぞれで違った視点で、違った役割を担っており、相互理解、連携がなければ実効性のある施策実施には繋がりません。そこで本セッションでは、個別避難計画を例にして、福祉部局と防災部局、国と自治体という異なった視座に立つ実務者と、研究者を交えた議論を通じて、それぞれの視野を共有しながら、異なる領域・階層で取り組む実務者同士の連携について考えます。

■登壇者：近藤 真吾（岡山市危機管理室 主事）、岩垣津 信太郎（岐阜県危機管理部防災課 主任）、小松 剛（伊那市総務部危機管理課 係長）、岡田 恵実（豊橋市防災危機管理課 主事）、小山 真紀（岐阜大学流域圏科学研究センター 准教授）、古橋 勝也（京都府危機管理監付 参事）

S-15

専門向け 一般向け

COVID-19 パンデミックに対する
本邦の災害医療対応

●主催：一般社団法人 日本災害医学会



●10/23 (日) 10:30~12:00

●JICA関西 2F
オリエンテーション室

COVID-19 パンデミックに対し、本邦の災害医療は搬送調整や個人防護具・病床確保、全国各地のクラスター発生施設対応や入院待機ステーションの設置運営等による医療提供体制の構築を進めてきた。本セッションでは、これまでの活動を振り返りながら、なぜパンデミックで災害医療支援が有効なのか、そして未曾有の危機に対して求められる All-Hazard 型の新しい災害医療のあり方は何かの核心に迫る。

■登壇者：阿南 英明（神奈川県 医療危機対策統括官）、中西 香織（札幌市保健所 地域医事担当部長）、近藤 久禎（国立病院機構本部 DMAT 事務局 次長）

S-16

専門向け 一般向け

災害レジリエンスの実現に向けて
—共創・国際・実装の取組み—

●主催：東北大学 災害科学国際研究所



●10/23 (日) 12:30~14:00

●JICA関西 2F
オリエンテーション室



当研究所の新たな取組の紹介として、第 1 に当研究所が 2022 年度から立ち上げた災害レジリエンス共創センターについて紹介する。第 2 に、災害医療と国際連携について、WHO 神戸センターと連携して発表する。第 3 に、南海トラフ地震の事前情報発表時の対応計画作成支援の研究成果を発表する。想定登壇者は、WHO 神戸センターの茅野先生、当研究所の江川教授、越村教授、丸谷教授、福島准教授、佐藤翔輔准教授。

■登壇者：丸谷 浩明（東北大学災害科学国際研究所 副所長）、江川 新一（災害レジリエンス共創センター センター長）、越村 俊一（災害レジリエンス共創センター 副センター長）、茅野 龍馬（世界保健機関（WHO）健康開発総合研究センター 医官）、福島 洋（東北大学災害科学国際研究所 准教授）

セッション

JICA関西 2F ブリーフィング室

S-17

自治体向け 一般向け

災害時の活動における支援者の
ところとからだの健康

●主催：兵庫県立大学地域ケア開発研究所

●10/22 (土) 12:30~14:00

●JICA関西 2F
ブリーフィング室

災害時に被災地で活動する支援者に生じる心と体の健康への影響について講演し、支援者となる自治体職員や一般ボランティアの方々に自身をケアしながら災害支援に従事するためのポイントをお伝えします。災害医療・災害メンタルヘルスの研究者、災害支援の活動者(NPO等スタッフ)、自治体防災担当者、WHO 技官等、研究者と実践家および行政等異なる立場の登壇者によるパネルディスカッションを行う。

S-18

専門向け 一般向け

21世紀前半に発生が確実視される国難級災害を
乗り越えるためのレジリエンス確保のあり方

●主催：日本学術会議
土木工学・建築学委員会
IRDR 分科会



●10/22 (土) 14:30~16:00

●JICA関西 2F
ブリーフィング室

南海トラフ地震、首都直下地震など21世紀前半に発生が確実視される超巨大災害が切迫している。また、全国的に甚大な水害の発生の危険性が高まっており、経済・社会活動が集中する首都圏では深刻である。こうした国難級リスクを乗り越えるため、残された時間の中で何を準備して、発災後はどのように対応すべきかである。学術、行政、民間、メディアの見地から、国難災害を乗り越える俯瞰的な戦略と実行可能な具体的方策について討議する。

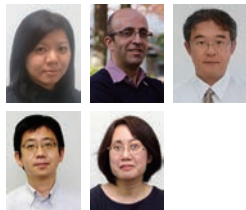
■登壇者：田村 圭子(新潟大学危機管理本部危機管理室教授、日本学術会議連携会員)、河田 恵昭(関西大学社会安全学部特別任命教授(チェアプロフェッサー)・社会安全研究センター長 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長)、水野 茂(株式会社ミズノ代表取締役)、大牟田 智佐子(毎日放送報道情報局報道業務部次長)、多田 明世(元大阪府茨木市危機管理課長、よんなな防災会女子部 管理者)、川崎 昭如(東京大学未来ビジョン研究センター教授、日本学術会議連携会員)、林 春男(国立研究開発法人防災科学技術研究所理事、日本学術会議連携会員)

S-19

専門向け 自治体向け

「気候変動×防災」～サステイナブルな
まちづくり、コミュニティを考える～

●主催：アジア太平洋地球変動
研究ネットワーク (APN)



●10/22 (土) 16:30~18:00

●JICA関西 2F
ブリーフィング室

「気候変動×防災」～サステイナブルなまちづくり、コミュニティを考える～をテーマにパネルディスカッションを開催します。特色① APNのネットワークを活かした国際的なセッションとし、日英同時通訳付で国内外の人々に発信します。特色② 兵庫県立大学大学院の知見を活かして、阪神淡路大震災を始めとする様々な災害の経験を伝えるとともに、近年増加する水害に対してコミュニティがどのように備えるのかを議論します。

■登壇者：馬場 美智子(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授)、AYYOUB SHARIFI(広島大学大学院人間社会科学部研究科兼先進理工学系研究科准教授)、塚田 源一郎(環境省地球環境局総務課気候変動応室長)、外山 洋一(APNセンター長)、天羽 美紀(APNセンター総務課長)

S-20

企業向け 自治体向け

「D&I 防災をリードする女性社長と企業経営」

●主催：全国女性社長の共創防災会議

●10/23 (日) 10:30~12:00

●JICA関西 2F
ブリーフィング室

全国の女性社長たちの地域での取り組み、防災関連の新規事業、地域を超えた防災連携の発表を踏まえ、ジェンダー平等に基づくD&I防災の提言を行います。パネリストは協力団体の企業社長で会議を推進する女性社長6名と小山真紀先生、モデレーターはSDI研究所理事の田原真人。対象は企業経営者、学術関係者、行政のほか取り組みに関心を持たれる方とし、共創防災のネットワークに参画希望する仲間を広く求めます。

■登壇者：鈴木 世津(ヒューネクス株式会社 CEO)、田原 真人(一般社団法人SD&I研究所 理事)、奥川 季花(株式会社ソノノベース 代表取締役)、長谷部 愛(株式会社日本木材 取締役)、今井麻衣子(今井運送株式会社 代表取締役)、西口 香織(明友産業株式会社代表取締役常務)、境 順子(株式会社マスコール 代表取締役)、光畑 由佳(モアハウス代表/お茶の水女子大学大学院後期課程)、小山 真紀(岐阜大学流域圏科学センター 准教授)

S-21

専門向け 自治体向け

阪神・淡路大震災時の対応と復興について
～伝承。行政・消防・災害医療の視点から～

●主催：兵庫県災害医療センター



●10/23 (日) 12:30~14:00

●JICA関西 2F
ブリーフィング室

・阪神・淡路大震災の際の対応や復興、次世代に伝えたいことをテーマに、行政・消防・災害医療の第1線を走り続けたリーダーが鼎談します。・パネリストは、井戸 敏三(ひょうご震災記念21世紀研究機構特別顧問・前兵庫県知事) 鍵本 敦(神戸市消防局長・兵庫県下消防長会会長) 中山 伸一(兵庫県災害医療センター顧問)

■登壇者：鍵本 敦(神戸市消防局長)、井戸 敏三(前兵庫県知事)、中山 伸一(兵庫県災害医療センター顧問)、鶴岡 卓(兵庫県災害医療センター前顧問)、高井 美紀(株式会社毎日放送総合編成局アナウンスセンター エキスパート)

セッション

JICA関西 3F セミナー室31・32

S-22

専門向け 自治体向け

ー 1.17 + 3.11 からの教訓ー長期・広域避難者支援における災害マネジメントのあり方を考える

●主催：一般社団法人ほっと岡山



●10/22 (土) 12:30~14:00

●JICA関西 3F
3Fセミナー室31・32

今後の大規模災害時に発生する広域避難者問題について、阪神淡路・大震災及び東日本大震災の教訓を踏まえ、長期・広域避難者支援における「災害ケースマネジメント」のあり方、及び残存する課題として、法整備や制度に求められる点を共に考える機会を設ける。

■登壇者：栗田 暢之（愛知県被災者支援センター長）、澤上 幸子（NPO 法人えひめ311事務局局長）、真壁 さおり（社会福祉士、ファシリテーター）、牧 秀一、服部 育代（一般社団法人ほっと岡山 代表理事）、青田 良介（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授）

S-23

自治体向け 一般向け

災害看護でまちづくり

●主催：（一社）EpiNurse

●10/22 (土) 14:30~16:00

●JICA関西 3F
3Fセミナー室31・32

災害がおきると地域の中にいる看護師はその専門性を活かしながら多様な立場で生活再建を支援し、その後のあんな暮らしと復興に取り組んできました。このセッションでは、阪神・淡路大震災、東日本大震災、西日本豪雨などにおいて、支援活動に携わってきた看護師、訪問看護師、研究者とその協力者（情報支援）、行政関係者らが、災害看護の視点からのまちづくりの重要性・意義について実際の活動内容を踏まえて議論します。

S-24

企業向け 自治体向け

災害対策の体系化と
災害対策トレーニングプログラムの構築

●主催：東京大学生産技術研究所附属
災害対策トレーニングセンター(DMTC)



●10/22 (土) 16:30~18:00

●JICA関西 3F
3Fセミナー室31・32

行政、民間企業・団体、地域住民まで相互に補完・連携した災害対策を実現するために、そもそも災害対策はどのように体系化できるのか、それをどのようにトレーニングすると有効なのかをご紹介します。具体的には、災害対策に関する8つの研究・教育分野、47種類の災害対策業務、災害対策業務を支援するBOSSシステムによるDX化を紹介します。そしてこれらを踏まえた、災害対策トレーニングプログラムについて説明します。

■登壇者：沼田 宗純（東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター(DMTC)副センター長）、谷 敏行（神戸市危機管理室 担当係長）

S-25

専門向け 企業向け

安全・安心イノベーション創出に向けた
大阪うめだ地区の挑戦

●主催：関西大学

●10/23 (日) 10:30~12:00

●JICA関西 3F
3Fセミナー室31・32

関西大学の防災研究に関わる研究者、ニュービジネスやビジネスモデルなどの経営学の研究者と、大阪・梅田を拠点に活動する企業様とパネルディスカッションを行います。参加対象者は、大都市災害に対し対応を迫られている企業、自治体、非営利団体など。【登壇者：関西大学 社会安全学部教授 奥村与志弘、商学部教授 西岡健一、学生他。企業様：阪急阪神不動産株式会社様、UHA 味覚糖株式会社様】

■登壇者：関西大学 社会安全学部教授 奥村 与志弘、商学部教授 西岡 健一、学生他。企業様：阪急阪神不動産株式会社様、UHA 味覚糖株式会社様

S-26

専門向け 自治体向け

災害時における
超法規的措置について考える

●主催：災害復興法理論研究会



●10/23 (日) 12:30~14:00

●JICA関西 3F
3Fセミナー室31・32

災害復興法理論研究会のメンバーによる報告をもとに会場の来客者とともにディスカッションを行います。報告テーマ・ディスカッションの内容は以下のものを予定しています。災害時における超法規的措置（東日本大震災の事例紹介） 非常時・緊急時における特有の法原理・法原則 自然災害と国家緊急権・緊急事態条項

■登壇者：佐々木 晶二（一般財団法人）土地総合研究所 専務理事）、岡本 正（銀座パートナーズ法律事務所 弁護士 人と防災未来センター特別研究調査員）、岡田 博史（関西学院大学法学部教授）

セッション

IHDセンタービル 3F 会議室1

S-27

一般向け 学生向け

防災教育交流会

●主催：防災教育チャレンジプラン
実行委員会



●10/22 (土) 12:30~14:00

●IHDセンタービル 3F
会議室1

目的：本大会のテーマである「未来につなぐ災害の経験と教訓～忘れない、伝える、活かす、備える～」のテーマを踏まえ、基調講演および意見交換会を行うことにより、今後の防災教育の普及推進に向けた検討課題の共有化を図る。対象：防災教育の取組初心者及び、本事業の参加主体である学校、NPO、学生団体、個人等 想定パネリスト：全国の防災教育の専門家等 出展内容：専門家による基調講演、パネリストによる意見交換会

■登壇者：諏訪 清二(兵庫県立大学 特任教授 防災教育学会 会長)、木村 玲欧(兵庫県立大学環境人間学部・大学院環境人間学研究所 教授)、石井 布紀子(NPO法人さくらネット代表理事)、杵子尾 駿(日本損害保険協会 業務企画部 防災・安全グループ 係長)、池田 真幸(防災科学技術研究所 特別技術員)、佐藤 翔輔(東北大学災害科学国際研究所 准教授)、船木 伸江(神戸学院大学現代社会学部 社会防災学科 教授)、佐藤 健(東北大学災害科学国際研究所 防災教育実践学分野 教授)

S-28

現地企画

一般向け 学生向け

全国学生防災シンポジウム
in ぼうさいこくたい

●主催：静岡大学学生防災ネットワーク

●10/22 (土) 14:30~16:00

●IHDセンタービル 3F
会議室1

当団体が2年間継続して行ってきた「全国学生防災シンポジウム」を本大会で行おうと考えています。全国の防災に関する活動を行っている若者(高校生・大学生等)が集まり、パネリストからの事例を踏まえ、防災に関して議論し合います。当シンポジウムでは学生が防災に関する議題を話し合うことで、学生の今後の防災活動の活発化を図るとともに学生内や学生と大人とのネットワークを作り、災害時に活かすことができます。

S-29

一般向け 学生向け

KOBE 発 防災教育と実践へのチャレンジ
一若者の想い“過去・現在・未来”を知り・次の世代へ発信—

●主催：兵庫県立大学
神戸学院大学

●10/22 (土) 16:30~18:00

●IHDセンタービル 3F
会議室1

兵庫・神戸で防災を学んだ若者が、今はどのように暮らし、防災に関わっているのか。また、これからの社会を担う若者が“これから学びたいこと”など、地域防災活動の事例紹介を交え、卒業生と現役学生や生徒によるパネルディスカッションを行い、ひょうこの防災教育の歩みと防災教育の意義について議論する。そして、市民ひとりひとりが「防災」を学ぶ大切さや、これからの「防災」について一緒に考えます。

■登壇者：森永 速男(兵庫県立大学院減災復興政策研究科減災復興政策専攻 特任教授)、前林 清和(神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 教授・学部長、博士(文学))、三浦 広志(特定非営利活動法人野馬士 代表理事)、難波 滋(兵庫県立尼崎小田高等学校 教諭)、樹田 和宏(防災音楽ユニット：Bloom Works)

S-30

一般向け

「東日本大震災津波被災地
・岩手における防災の学び」について

●主催：三陸復興協議会

●10/23 (日) 10:30~12:00

●IHDセンタービル 3F
会議室1



住民を主体とした地域の防災力の向上、岩手県内における東日本大震災津波の教訓伝承の取組を軸に据え、災害に強い地域づくりに向けた取組を考えるとともに、これまでの復興の歩みや復興支援への感謝の想いを伝え、復興の先を見据えた「防災を学習する場」としての新しい岩手の姿を発信します。

■登壇者：杉安 和也(公立大学法人岩手県立大学総合政策学部 講師)、阪本 真由美(公立大学法人兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授)、山野目 真(三陸鉄道株式会社運行本部旅客営業部旅客営業課 課長)、菊池 のどか、津軽石 昭彦(関東学院大学法学部地域創生学科 教授)

S-31

専門向け 一般向け

防災教育を科学する

●主催：防災教育学会



●10/23 (日) 12:30~14:00

●IHDセンタービル 3F
会議室1

・阪神・淡路大震災の発生した地元で、震災以来続けられてきた「新たな防災教育」「兵庫の防災教育」の事例を紹介し、その意味を考えます。
・東日本大震災の被災地で行われている、被災体験をもとにした「復興教育」の事例を紹介し、その意味を考えます。
・災害体験の有無と防災教育の個性・普遍性を議論します。

パネリスト：船木伸江(副会長・阪神大震災の事例)、東日本大震災の復興教育の事例、諏訪清二(会長)

■登壇者：諏訪 清二(防災教育学会 会長)、船木 伸江(防災教育学会 副会長)、北野 裕信(防災教育学会)、佐藤 敏郎(防災教育学会)

セッション

オンライン

So-1

専門向け 一般向け

過去の災害から得られた教訓
～現在、そして将来への課題～

●主催：公益社団法人 日本医師会



●10/22 (土) 12:30～14:00

●オンライン



本セッションでは、過去の災害時から得られた教訓を改めて考える。我が国の災害医療体制は、阪神・淡路大震災をはじめとした、過去の災害で得られた課題を乗り越えるため、新たな仕組み作りを行い強化されてきた。今改めて、過去の被災経験や災害対応で得られた知見を基に、現在の災害医療体制における課題や、今後の備えとして何ができるのかを考えていく。

■登壇者：藤田 宏史（一般社団法人 兵庫県医師会 常任理事）、山口 芳裕（杏林大学医学部主任教授・高度救命救急センター長）、柳川 忠廣（公益社団法人 日本歯科医師会 副会長）、村上 美也子（公益社団法人 富山県医師会 副会長）、石井 美恵子（国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻 災害医療分野 教授 日本災害医学会 理事）、松本 吉郎（公益社団法人 日本医師会 会長）、茂松 茂人（公益社団法人 日本医師会 副会長）、細川 秀一（公益社団法人 日本医師会 常任理事）

So-2

自治体向け 一般向け

WAA ReSCue2 年め、そして未来へ

●主催：WAA ReSCue



●10/22 (土) 14:30～16:00

●オンライン



連携する自治体や支援したい人材を拡大、繋がるセッションとして、WAA ReSCue がこれまで取り組んできた人材養成研修や防災ワークショップの様子をメンバーから報告。当日はワークショップ先からのレポートや交流した地域住民の感想などをライブ配信で各地からリアルに報告。フェーズフリーに地域と関わる重要性、支援できる人材になる意義を参加者に伝える。パネリスト：WAA ReSCue メンバー

So-3

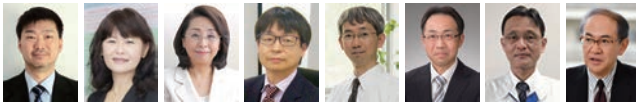
自治体向け 一般向け

自然災害を取り巻く環境の変化
～防災科学の果たす役割

●主催：防災学術連携体
・日本学術会議

●10/22 (土) 16:30～18:00

●オンライン



近年、自然災害と感染症との複合災害、線状降水帯の頻発化、盛土崩落による土石流、火山噴火と津波・軽石の漂流など、新たなハザード(危機)と災害が出現しています。私たちは、出現した多様なハザードへの備えという重大な課題に直面しています。ここでは、自然災害を取り巻く環境が変化の中で、防災科学が果たすべき役割に焦点を当て、広く意見交換をします。パネリストは、各分野の専門家6名程度を想定しています。

■登壇者：永野 正行（日本学術会議連携会員、防災学術連携体幹事、東京理科大学理工学部建築学科・教授）、山本 佳世子（日本学術会議連携会員、防災学術連携体幹事、電気通信大学教授）、米田 雅子（日本学術会議会員・防災減災学術連携委員長、防災学術連携体代表幹事、東京工業大学特任教授）、安田 珠幾（気象庁総務部参事官、日本気象学会会員）、小杉 賢一郎（京都大学大学院農学研究科教授、砂防学会研究開発部会長）、長谷川 兼一（秋田県立大学教授）、後藤 高広（農研機構農村工学研究部門災害対策調整室長）、矢守 克也（京都大学防災研究所教授、日本災害復興学会会長、地区防災計画学会副会長）

So-4

専門向け 一般向け

新災害予兆スタイル
一逃げるを諦めない、その先へ

●主催：一般社団法人 DroneAI 技術研究機構



●10/23 (日) 10:30～12:00

●オンライン

1 人が助かるためには、事前の情報が必要で、そのために最新の技術による災害予兆科学の実践が必要 2 今までの災害予兆による事前アンケートに基づき検証をする 3 災害弱者やフィジカルチャレンジの方を含めた避難を考える 4 最新技術のご紹介 5 上記の複合的な活用技術

■登壇者：田口 政行（一般社団法人 DroneAI 技術研究機構 研究者）、澤田 まきこ（司会 / モデル）、藤重 裕（一般社団法人 DroneAI 技術研究機構 理事長 / 研究者（学者））

So-5

自治体向け 一般向け

「事前復興を取り入れた
これからの地域防災、地区防災」

●主催：一般財団法人危機管理教育 & 演習センター

●10/23 (日) 12:30～14:00

●オンライン

「事前復興」をテーマに、国の事前復興に関するガイドラインや全国でのモデル事業の事例、高知県の事前復興を市町村に展開する取り組み、宿毛市の高台庁舎移転の取り組み、鷗来島での島民中心で事前復興を取り入れた地区防災計画の作成の取り組み等を紹介させていただきます。登壇者 国土交通省、高知県、宿毛市役所、鷗来島区長、一般財団法人危機管理教育 & 演習センター

■登壇者：埴 洋介（国土交通省 都市局都市安全課 課長補佐）、大野 修史（高知県南海トラフ地震対策課 チーフ（対策推進担当））、近澤 伸一（高知県宿毛市役所 危機管理課 係長）、田中美千枝（高知県宿毛市鷗来島 区長）、細坪 信二（一般財団法人危機管理教育 & 演習センター 理事長）

So-6

自治体向け 一般向け

集まれ！防災女性職員とその応援団 第2弾

●主催：内閣府男女共同参画局

●10/22 (土) 12:30～14:00

●オンライン

全国で防災女性職員のネットワークを作っている自治体や、地域で防災活動に取り組む女性団体等の活動を紹介し、各地で防災に携わる女性同士のつながりをさらに広げることを目的としてセッションを開催する。

So-7

専門向け 一般向け

災害伝承ミュージアム・セッション 2022
日本の災害ミュージアムの現在地

●主催：日本災害伝承ミュージアム・セッション

●10/22 (土) 14:30~16:00

●オンライン

全国の災害伝承ミュージアムおよび、「語り部活動」「震災遺構」等を含み、ミュージアム的な場が担う災害伝承活動全般に関する包括情報を紹介。またこれらに関し選抜したミュージアムを運営する施設・団体から活動・取り組みの現状等をレポートいただきます。また最新の情報を披露しあうことで、登壇者および本テーマに関心のある参加者において互いの見識を深める場とします。

■登壇者：御嶽山ビジターセンター、南三陸311メモリアル、大槌町震災伝承プラットフォーム・おらが大槌夢広場、3.11メモリアルネットワーク、東日本大震災・原子力災害伝承館、日本ジオパークネットワーク(雲仙岳災害記念館)、ふたば学舎、北淡震災記念公園、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

■コーディネーター：澤田 雅浩(兵庫県立大学大学院)

■コメントーター：山地 久美子(災害語り部ネットワーク)、平林 英二(人と防災未来センター)

So-8

企業向け 自治体向け

モビリティ・レジリエンス
～災害時のクルマ被災をどうするか？～

●主催：一般社団法人
日本カーシェアリング協会

●10/22 (土) 16:30~18:00

●オンライン



災害時にクルマが被災することは皆承知しているが、そのことによる被災者への影響があまり認知されておらず対策もなされていない。災害時のクルマ被災に焦点を当て、今後どのような体制や連携が必要かを探る。

■登壇者：吉澤 武彦(一般社団法人日本カーシェアリング協会 代表理事)、諸留 逸(トヨタ自動車株式会社 社会貢献推進部 共生社会推進室 モビリティフォーオールG 主幹)、宮本 明子(一般財団法人トヨタ・モビリティ基金 プログラム企画G プログラム・マネージャー)、岩永 幸三(佐賀県 県民環境部 副部長)、伊藤 和茂(ルート産業株式会社 代表取締役)、所澤 新一郎(一般社団法人共同通信社 気象・災害取材チーム長)

So-9

自治体向け 一般向け

防災×○○!
(楽しみながら防災を学ぶ工夫や仕掛け)

●主催：広島県

●10/23 (日) 10:30~12:00

●オンライン



防災という分野は、近年、注目されることが増えているものの、依然、多くの一般の方にとっては興味が薄い分野で、広く普及促進していくには、様々な工夫が必要です。本セッションでは、純粋な防災指導でなく、エンタメ的要素を加えた取組(防災×○○)の紹介やゲームの実践を通じて、楽しみながら防災を学んで頂く工夫や仕掛け、より効果的な取組を議論していきます。

【想定P】広島県、広島大学 海堀特任教授、匹田准教授 他

■登壇者：海堀 正博(広島大学防災・減災研究センター長・特任教授)、匹田 篤(広島大学総合科学部准教授((兼)広島大学防災・減災研究センター))、沖村 俊介(広島県危機管理監みんなで減災推進課 主査)、山田 更加(広島県危機管理監みんなで減災推進課 主任)、西佐古信夫(広島市防災士ネットワーク 副代表)、中嶋 りの(NHK 広島放送局 職員)

So-10

自治体向け 一般向け

地球観測の最新動向と
災害情報の可視化・高度化技術の紹介

●主催：一般社団法人
日本リモートセンシング学会

●10/23 (日) 12:30~14:00

●オンライン

地域防災力向上の重要性を踏まえ一定規模の地域に対して的確な災害情報を得るための方法や有効な活用事例についてご紹介します。日々刻々と変化していく地域情報までをリアルタイムに把握し地域防災を検討する際の材料として扱うことは困難です。そこで衛星データから罹災域とその現況を把握するところから一歩話を進め、衛星データから作成される地表面の情報を選別に応用してゆく最新技術や実務事例を紹介します。

So-11

企業向け 一般向け

「昨今の様々な状況を
踏まえたこれからの事業継続」

●主催：特定非営利活動法人
事業継続推進機構

●10/22 (土) 12:30~14:00

●オンライン

昨今の様々な状況を踏まえたこれからの事業継続をテーマに、災害、新型コロナ、サイバー攻撃、ウクライナの影響等の事例、専門家からの意見、企業の事業継続の取り組み等を紹介させて頂き、後半は、オンラインで全国の事業継続の専門家、企業の方々と交えたパネルディスカッションを実施する予定です。

登壇者
事業継続に取り組む企業、事業継続推進機構の役員、東北大学教授、一般財団法人危機管理教育&演習センター理事長

■登壇者：丸谷 浩明(東北大学災害科学国際研究所教授)、細坪 信二(一般財団法人危機管理教育&演習センター 理事長)、里見 和人(AIG 損害保険株式会社 中小企業強化プロジェクト リーダー)、山口 玉緒(株式会社エンタープライズ山要 代表取締役)、BCAO 役員(オンラインでつなぐパネルディスカッション)

セッション

人と防災未来センター 東館1F こころのシアター

S-99

クロージングセッション

●10/23 (日) 14:30~15:30

●人と防災未来センター
東館1Fこころのシアター



- ①クロージングセレモニー
 - ・神戸市歌「しあわせ運べるように」神戸市立桂木小学校
 - ・「現地企画・情報共有会議」活動報告
 - 後藤 隆昭(阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター副センター長)
 - 阪本 真由美(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授)
- ②主催者等挨拶
 - 秋本 敏文(防災推進国民会議副議長 日本消防協会会長)
 - 河田 恵昭(阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長)
 - 佐々木 修(防災推進協議会運営委員会委員長 日本損害保険協会業務企画部長)
 - 星野 剛士(内閣府副大臣)

ワークショップ

人と防災未来センター 西館1Fガイダンスルーム2

W-1 10/22 (土) 12:30~13:30 人と防災未来センター 西館1Fガイダンスルーム2

こども食堂防災プロジェクト 自治体向け 一般向け
 ■特定非営利活動法人 U.grandmaJapan
 平成30年7月豪雨で経験した支援活動や平時の子ども食堂の役割から有事の際にどんな役割ができるかまたキッチンカーを利用した居場所での防災の取り組みを行っている事例。今後の南海トラフを見据えた全国のこども食堂の連携など防災の備え、有事の際の行動、こども食堂だから出来ることなどを事例紹介していきたい。

W-2 10/22 (土) 14:00~15:00 人と防災未来センター 西館1Fガイダンスルーム2

「ぼうさいこくたい2022防災宣言」を作ろう! 一般向け 学生向け
 ■兵庫県立舞子高等学校
 兵庫県中高生防災ジュニアリーダーが、阪神・淡路大震災から25年の年に提唱した「ジュニアリーダー防災宣言」をもとに、震災30年を目前とした今、震災を経験していない若者世代が、その教訓を次世代へと引き継ぎ続けることについて考える。防災学習や地域活動に対する新たな具体案を提案し、「ぼうさいこくたい2022防災宣言」を参加者とともに作成する。

W-3 10/22 (土) 15:30~16:30 人と防災未来センター 西館1Fガイダンスルーム2

「さわる、そっからかんがえる」：災厄のミュージアム 一般向け 子供向け
 における震災遺物を用いた対話型ワークショップ
 ■人と防災未来センター 研究部「ことばほこほこフィールドひとぼう」研究班
 阪神・淡路大震災時に避難所で用いられていた震災遺物をWS会場に設置し、参加者に自由に触れていただきます。その感想の言語化と参加者同士の共有・議論を通じて、過去と将来の災害への想像力を養っていただきます。WSの進行は人と防災未来センターの研究員が行います。震災遺物の使用については関係者から許諾を得ています。また、北沢震災記念公園・野島断層保存館より、硬化処理を施した「さわられる断層」をお借りし、会場に設置します。

W-4 10/22 (土) 17:00~18:00 人と防災未来センター 西館1Fガイダンスルーム2

写真洗浄体験 自治体向け 一般向け
 ■写真洗浄ボランティア 西日本あらいぐま連合
 被災された方の大切な思い出を守る活動「写真洗浄」を体験してみませんか? こちらのワークショップでは自然災害で被災した写真の洗浄工程のひとつであります「仕上げ作業」を体験していただけます。今回洗浄していただく写真は熊本県(あらいぐま丸)よりお預かりしたものです。

W-5 10/23 (日) 10:30~11:30 人と防災未来センター 西館1Fガイダンスルーム2

「阪神淡路大震災ヴァーチャルツアー 一般向け
 ~震災取材カメラマンと震災の時0歳だった記者が考える未来の防災~
 ■株式会社サンテレビジョン、朝日放送グループホールディングス株式会社
 ホームページ「阪神淡路大震災取材映像アーカイブ」の地図上のポイントを会場のナビゲーターが紹介。地震直後の映像を視聴し、またはグループストリートビューで現在の街の姿と比較するなどして当時の状況を解説するZoomを利用したウェブ形式のワークショップ。https://www.youtube.com/watch?v=FiYAMswJhw (前回2021年2月20日開催)

W-6 10/23 (日) 12:00~13:00 人と防災未来センター 西館1Fガイダンスルーム2

怖くない防災を子供達に伝えたい。お菓子を使った防災講座おいしい防災塾 学生向け 子供向け
 ■一般社団法人おいしい防災塾
 防災講話と防災お菓子ポシェットを作ります。対象：親子15組(子供15人限定) 時間：60分 間講座資料の安心えほん、作成した防災お菓子ポシェットはお持ち帰り頂きます。参加費：無料 当日受付 11:30 到着 15組(人) 講座 12:00 スタート 50分 小学生は保護者同伴、中学生以上は1人で参加可

W-7 10/23 (日) 13:30~14:30 人と防災未来センター 西館1Fガイダンスルーム2

地域に根ざしたハザードマップの作成と様々な地図の見方の紹介 自治体向け 一般向け
 ■特定非営利活動法人 地図で防災・まちづくりサポート
 愛知県で行われている「みすから守るプログラム」で実施した町内・学区内レベルの手作りハザードマップの紹介を行います。住民と一緒に町内を周り、危険箇所や避難経路を確認して地図上にプロットし、写真なども含め編集してハザードマップとして完成させる工程を説明します。また古地図も含めた様々な種類の地図の見方を紹介し、自分の住んでいる地域の災害リスクを参加者と一緒に確認していくプログラムを予定しています。

ワークショップ

JICA関西 3F セミナー室33・34

W-8 10/22 (土) 12:30~13:30 JICA関西 3F セミナー室33・34

災害時における授乳アセスメント(聞き取り)を体験しよう 自治体向け 一般向け
 ■母と子の育児支援ネットワーク
 内閣府男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～(2020年)」の中の「授乳アセスメントシート」を参加者がグループワークで体験的に使います。避難所等で授乳中の母子に接する可能性のある人がこのシートを使うことで、母乳を飲ませている女性が安心して継続でき、乳児用ミルクが必要な人には安全に使うための支援ができるようになることを目指します。

W-9 10/22 (土) 14:00~15:00 JICA関西 3F セミナー室33・34

災害教訓伝承と災害対応マニュアルの新形態 防災ゲーム「ダイレクトロード」による机上災害対応訓練 一般向け 学生向け
 ■神戸市消防局
 「どなたでも自由に活用いただけるコンテンツとして神戸市HPに無償公開している災害協力シミュレーションゲーム「ダイレクトロード」を実施します。」

W-10 10/22 (土) 15:30~16:30 JICA関西 3F セミナー室33・34

在日外国人が見た日本と外国の防災の違い ~違いを知ることから始める防災協力~ 自治体向け 一般向け
 ■一般財団法人アジア防災センター
 事前に外国人留学生や労働者など母国を離れて日本で生活している人たちが感じる日本の防災の現状や自国の防災に対する取り組みの違いをオンラインアンケートで集計し、結果を見ながら防災まちづくり、ハザードマップ、防災訓練、災害情報、避難所生活等各段階における相違点を明らかにします。そして、今後行政や地域コミュニティに提案したい外国人防災活動について意見交換します。

W-11 10/22 (土) 17:00~18:00 JICA関西 3F セミナー室33・34 現地企画

Bloom Works ×神戸学院大学生有志の皆さん×神戸女子大学生有志の皆さん「ぼうさいミライ☆すごろく」 一般向け 子供向け
 ■IT防災スタートアップ協議会
 防災に活用できる未来のIT技術を、スタートアップ企業各社に協力を呼びかけてゲーム化します。子どもや一般の方も楽しめる参加しやすくなるワークショップを目指します。被災地で考案された防災すごろくをベースに「災害シナリオ」を作成し、災害発生時に活用可能なIT技術をデモンストレーションします。防災音楽ユニット「Bloom Works」と、大学生防災啓発団体「神戸学院大学生有志の皆さん」がナビゲートします。

W-12 10/23 (日) 10:30~11:30 JICA関西 3F セミナー室33・34

「いざという時どうなる? あなたの食と栄養」 ~自助・共助・公助 それぞれについて考えよう~ 自治体向け 一般向け
 ■食べる支援プロジェクト(たべぶろ)、公益財団法人 味の素ファンデーション(TAF)、生活協同組合コープこうべ
 [1.総論:問題提起] 食べる支援プロジェクト(たべぶろ)より
 ①データや写真による「災害時の食と栄養」の実態の説明
 ②何故、災害時の食と栄養の問題は長年後回しにされてきたのか?の問題構造の解説
 ③2021年に発行した、災害支援NPOのノウハウと栄養士の専門知識をまとめて体系化した「防災時の災害時の食と栄養 支援の手引き」の紹介
 ④食べる支援プロジェクト(たべぶろ)の紹介
 ⑤今回のプログラムのご紹介(含むパネル展示)
 [2.共助・公助・連携] 公益財団法人 味の素ファンデーション(TAF)より
 行政、企業、NPOとの連携で、被災経験があるアクターが自分達の経験を活かした食と栄養の仕組みづくりに挑戦する以下2事例を紹介
 ①アナログ 主体者 NPO ~ 佐賀県武雄市における、要配慮者への手作りの防災支援
 ②デジタル 主体者 行政・企業 ~ 宮城県仙台市における、仙台BOSAI-TECHで産まれた自治体一企業・団体に間における支援物資要請環境改善に向けたソリューション開発
 [3.自助] 生活協同組合コープこうべより
 災害時の食の問題とローリングストックを学ぶ「BOSAIキッチン」
 ①コロナ禍における防災知識を学ぶ
 ②食糧備蓄率の向上(備蓄に対する視点の転換・普段のストックを災害時に活用する想像力の育成)
 ③災害時の食の問題(栄養・アレルギー)の解決を目的としたプログラム。
 「お家にあるもので」「栄養があり」「いつもおいしい」BOSAIメニューを発信

W-13 10/23 (日) 12:00~13:00 JICA関西 3F セミナー室33・34

兵庫県南部地震とはどうい地震?、関西の内陸地震についてはどこまで分かった?、いまでも何が分からないのか?皆さんの疑問に徹底的に答えます 自治体向け 一般向け
 ■公益社団法人日本地震学会(共催:一般社団法人日本活断層学会)
 1995年の兵庫県南部地震の正体は、どこまで解明されているのか、南海トラフ地震の前に内陸地震が起きるとされているが、現状はどう考えられているのか、大阪北部の地震や京都府南部の地震活動など、活断層に囲まれた近畿地方の内陸地震の正体は、何が分かっているのか、学会の研究者が疑問に徹底的に答えます。参加者には、事前にプレゼン動画を見ていただき、事前質問を受け付け、当日は回答する形式で行います。

W-14 10/23 (日) 13:30~14:30 JICA関西 3F セミナー室33・34

お天気キャスターに挑戦 ~台風接近! 迫りくる危険を伝えよう~ 学生向け 子供向け
 ■一般社団法人 日本気象予報士会 関西支部
 【親子対象(小学3~6年生)】大きな被害をもたらす台風。その災害について学び、人に「伝える」体験を通して、「防災への理解を深めます。簡単な実験も行います。
 ①台風ってどんなもの? ②台風の災害 ③どこがぶつけないの? ④台風情報を伝える原稿を作ろう
 ⑤お天気キャスターになって台風の危険を伝えよう!

ワークショップ

JICA関西 4F セミナー室41

W-15 10/22 (土) 12:30~13:30 JICA関西 4F セミナー室41

「話題のFMB(ファーストミッションボックス)を体験してみよう」 一般向け
 ■一般社団法人危機管理教育研究所
 ファーストミッションボックス(FMB)を詳しく知りたい方、導入を検討している方に朗報です。このFMBワークショップではFMBを使用した疑似訓練を行います。実物を触り体験することでFMBの効果を実感していただけます。その場でFMB考案者の講師二人にも相談できます。

W-16 10/22 (土) 14:00~15:00 JICA関西 4F セミナー室41

みんながつくりたくなる「災害時個別支援計画」のレシピ ~協働×包摂型の取り組み例を通じて~ 自治体向け 一般向け
 ■特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター
 ●目的 国を挙げて「災害時個別支援計画」が推進される向きにあるが、官民それぞれの現場からは個人情報保護や地域住民の参加・協力の難しさといった困難が多く聞かれる。他方、創意工夫により乗り越えている好事例もみられ、それらの知見を学び合う場とする。
 ●対象 行政、社会福祉協議会、地縁組織、NPO等
 ●流れ ①トーク(行政・社協・NPO等4名) ②参加者の意見交換 ③②の全体シェア ④総括

W-17 10/22 (土) 15:30~16:30 JICA関西 4F セミナー室41
災害発生、さあどうする！？ 一般向け
 ~時系列で考える災害対応~ 学生向け
 ■株式会社明石スクールユニフォームカンパニー
 【内容】5人程度のグループに分かれ、災害発生の条件を設定し、どのような災害対応ができるかを時系列で考えます。一人ひとりが日頃から災害に備え、学校で安全な環境を整えられるように、災害時に起こりうること、それに対してどのような備えができるかについて話し合いたいと考えております。【講師】 諏訪 清二 先生(兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科-客員教授)【対象】 一般の方や学生

W-18 10/22 (土) 17:00~18:00 JICA関西 4F セミナー室41
げんさいカフェ in ぼうさいこくたい 一般向け
「みんながやる気になるための減災コミュニケーション」
 ■名古屋大学 減災連携研究センター
 世界でただ一つ、防災・減災だけをテーマに専門家と市民とが対話を通して情報共有するサイエンス・カフェ。名古屋大学減災館では、すでに10年以上、130回の開催経験があります。ゲストと参加者との距離が近く、同じ高さでのコミュニケーションが可能なイベントです。今回は減災コミュニケーション研究の最新情報をお話し。会場に来ていただいた20名+オンラインの参加者の方は、どんどん質問してゲストとの対話を楽しみましょう。

W-19 10/23 (日) 10:30~11:30 JICA関西 4F セミナー室41
みんなで考えよう！ Pon ♪ Pon ♪
防災・減災スタンプラリー
 ■東北大学災害科学国際研究所 地震津波リスク評価(東京海上日動) 寄附研究部門
 防災・減災スタンプラリーは、子供から大人まで楽しく学べる「生きた防災教育」です。津波が来た時に危ない場所はどこか？いま、大津波が来たならどれくらい被害が出るの？といった疑問に、直感的に理解できる答えを世界最先端の研究現場からお届けします。教育現場や自治体で防災に携わる方から家族の安全を願う皆様まで、幅広い方々に御参加頂き、一緒に防災・減災について考える場となることを目的としています。

W-20 10/23 (日) 12:00~13:00 JICA関西 4F セミナー室41
第6回災害関連死ゼロサミット 自治体向け
みんなの力で災害関連死をゼロに 一般向け
 ■災害関連死ゼロサミット
 ●共創の仕組みをみんなで考える会にします。●分科会に分かれて行動アイデア会議。「避難所」「福祉避難所」「おうち避難」●登壇者：有識者、NPO 団体、防災士会(予定)

W-21 10/23 (日) 13:30~14:30 JICA関西 4F セミナー室41
これが最新！ 災害図上訓練 DIG 一般向け
 ■海ぼうずの会(「ふじのくに DIG セミナー」参加者の会) 学生向け
 避難経路確認と思われがちな DIG ですが、実は避難論議の先に、本当の DIG・本場の地域防災論議があります。このワークショップでは、南海トラフ地震対策を念頭に置いた地震防災・津波防災 DIG のポイントを、DIG 考案者の小村隆史(常葉大学)本人が直接伝えます。「残された時間」を意識しつつ「避難しなくて済む防災まちづくり」を目指し、どう実現するか。DIG 経験者だけでなく多くの方の参加を歓迎します。

ワークショップ
 IHDセンタービル 2F 交流ギャラリー南

W-22 10/22 (土) 12:30~13:30 IHDセンタービル 2F 交流ギャラリー南 一般向け
BOUSAI ゼミな～ in ぼうさいこくたい2022 学生向け
 ■BOUSAI ゼミな～実行委員会(事務局：特定非営利活動法人宇和島 NPO センター)
 「大規模災害」という事象でつながった多地域の高校生が、次のXデーに向けて作っておかないといけない地域社会を目指して「地域とは」「命とは」「つながりとは」について話し合う。2020年11月から継続開催してきた「BOUSAI ゼミな～」を防災団体2022で開催。リアル会場とオンライン会場とで、高校生と大人たちが「避難所運営」「事前復興」「避難訓練」等を語り合い、防災と地域社会について考える。

W-23 10/22 (土) 14:00~15:00 IHDセンタービル 2F 交流ギャラリー南 一般向け
大人から子どもまで、防災を「カード」で学び、 一般向け
「カード」でつながろう。 子供向け
 ■国総研(国土交通省 国土技術政策総合研究所)、しぞ～か防災かるた委員会、アールシーソリュージョン株式会社

「カード」で防災を学び、「カード」でつながる防災に取り組みます。【カード】を通じて、大人から子どもまでみんなで防災を考えましょう。本ワークショップは、「カード」を通じて防災に取り組んでいる3者の共同出展で、60分よりたくさん「防災」に触れる、1粒で3度おいしいワークショップです。
 防災カードゲーム「このつぎなにかおきるかな？」
 「このつぎなにかおきるかな？」は、地震や津波、水害、土砂災害が発生したときに起こる危険な状況をストーリー仕立てで表現した防災カードゲームで、国土交通省が製作しました。ワークショップでは、「このつぎなにかおきるかな？」の体験を通じてゲームの分かりやすさやその効果を認識していただき、防災教育現場における活用方法を皆さんと考えます。みんなでワイワイ遊びながら防災について学びましょう。
 しぞ～か防災かるた
 「しぞ～か防災かるた」は、静岡市を中心とする静岡県の文化、歴史、風土の特徴と防災心得を楽しく学ぶ、かるたです。ワークショップでは、作成経緯と活動内容を紹介し、実際に体験してもらって「しぞ～か防災かるた」のノウハウを伝授します。また、「地域の良さ」と「その地域の防災の心得」を一緒に学べる新しいタイプの「防災かるた」を全国的に展開し、「防災かるた」の交流会が開催できればと考えております。
 サバイバルカード
 「サバイバルカード」は、「ゆれくるる津波隊のレッツ防災術(JAの子ども雑誌「ちゃぐりん」で連載中)」のキャラクターを活かした防災カードで、携帯して外出中の災害遭遇時に子どもと家族をつなげます。ワークショップでは、サバイバルカードに名前や住所、避難場所等の情報を記入してもらい、その場で顔写真を撮り、カードに貼り付けてお渡します。お孫さんと一緒に年配の方も考慮した、目に優しいデザインとなっています。

W-24 10/22 (土) 15:30~16:30 IHDセンタービル 2F 交流ギャラリー南 一般向け
いつでも・どこでも・だれでも楽しく防災！ 学生向け
 ■大阪防災プロジェクト、TEAM-3A
 ●大阪防災プロジェクト
 ①防災教育ツールの展示：防災ゲーム等、弊団体独自の教育ツールを展示し、来場者に体験してもらいます。
 ②活動紹介：チラシや動画を使用し、弊団体が取り組む活動を紹介する。
 以上により来場者の防災意識を高める。
 ●TEAM-3A
 ①高校生が作成した2種類のボードゲーム「にげろ！あにまるず(避難編)」と「かいつ！あにまるず(避難生活編)」の体験。
 ②オリジナル防災教材「いろいろぼうさい教室」と「カードゲーム版 HUG」の展示。

W-25 10/22 (土) 17:00~18:00 IHDセンタービル 2F 交流ギャラリー南 学生向け
身近にあるもので手軽に防災グッズを作ろう 子供向け
 ■117KOBEB ぼうさい委員会
 主に小中学生向けに新聞紙を使ったスリッパ作りやビニール袋を使ったレインコート作り、防災グッズ、AED を使用した救急救命処置のデモンストレーションなどのワークショップで気軽に参加できるプログラムを用意して防災の意識を高めるものとします。

W-26 10/23 (日) 10:30~11:30 IHDセンタービル 2F 交流ギャラリー南 一般向け
自宅の危険箇所はどこだろう？ 一般向け
～家庭内 DIG を使って確認しよう～ 子供向け
 ■日本赤十字社
 皆さんは、地震が起きたときの自宅の安全対策はお済みですか？日本赤十字社では、「ぼうさいこくたい2022 特別プログラム」として、けがを防止し安全な避難に繋げるため、部屋の安全対策を考えるワークショップを開催します。* スマートフォンでの参加は、お手元に紙と鉛筆をご用意ください。

W-27 10/23 (日) 12:00~13:00 IHDセンタービル 2F 交流ギャラリー南 一般向け
身近なもので楽しく防災ワークショップ 子供向け
 ■公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
 ボーイスカウトは、イオンモールとの共催により全国60会場以上で「防災啓発イベント」を展開しています。今回のワークショップでは、防災キャラバンでも行っている、ビニール袋や新聞紙など身近にあるものを使った防災ワークショップを展開することで、参加する子どもたちやその家族が楽しく防災を身近に感じてもらうことを目指します。ワークショップの運営は、神戸市内にいるボーイスカウトの青少年が行います。

W-28 10/23 (日) 13:30~14:30 IHDセンタービル 2F 交流ギャラリー南 一般向け
オリジナルカード教材で考えよう！災害時の「ひなん」と「食の備え」 一般向け
～避難行動訓練EVAG、BOSAIカードX(クロス)を使って～ 学生向け
 ■神戸学院大学、国土防災技術株式会社
 ●神戸学院大学
 神戸学院大学では、現代社会学部 社会防災学科において、教員や学生が多くの防災教育教材を開発してきました。今回は、総合大学の強みを活かし文理融合で作成した防災教材「BOSAI カードX(クロス)」を用いて、家庭・地域・学校など様々な場面で活用いただける「災害時の食を考える」教材の活用法レクチャー&体験会を開催します。
 ●国土防災技術株式会社
 地域にいる様々な人物になりきって、豪雨災害時に避難行動を疑似体験する EVAG ミニワークショップを行います。避難時のお困りごとからご近所さんの助け合いなど、共助の気づきを参加のみならず楽しく共有します。現行の「避難情報に関するガイドライン」に沿った避難のあり方に対応した、改訂版 EVAG で考えていただきます。

ワークショップ
 オンライン

Wo-1 10/22 (土) 14:00~15:00 オンライン 自治体向け
これだけは知っておきたい 災害時の子どもの支援「28 自治体向け
の基準」(人道行動における子ども権利の保護の最低基準) 一般向け
 ■災害時に子どもを守る最低基準(CPMS)推進ネットワーク
 災害などの緊急支援の現場で、子どもたちが危険にさらされることなく安心・安全に過ごせるために、支援者はどのような点に気を付ける必要があるのでしょうか。2021年に発行された「人道行動における子どもの保護の最低基準(第2版)」をもとに、子どもを適切に守るために支援関係者が知っておくべき28の基準をレクチャーとグループワークを通じて学びます。

Wo-2 10/22 (土) 15:30~16:30 オンライン 自治体向け
消防団を盛り上げようゼミ【オンライン市役所】 自治体向け
消防団活動の素朴なゼモンと、機械点検ってなーに？ 一般向け
 ■消防団を盛り上げようゼミ【オンライン市役所】
 消防団を盛り上げよう課【オンライン市役所】の活動内容をポジティブメッセージとして紹介する事で、消防団員確保の問題に向き合う機会を作り一般来場者に対しては、消防団に興味を持つきっかけを作りたい。併せてゲーム推進課【オンライン市役所】との共同出展の趣旨としては、防災担当事務の傍ら避難所カードゲームを提案、汎用的に使えるよう教材化する意向であったため、今回のぼうさいこくたいをお披露目の機会としたい。

Wo-3 10/22 (土) 17:00~18:00 オンライン 自治体向け
防災にダイバーシティの視点を入れ込む 自治体向け
～阪神・淡路大震災以降の女性や外国人らの参加促進の取組から～ 一般向け
 ■阪神・淡路大震災からのダイバーシティの歩みを検証する実行委員会
 自治体や地域の防災計画や実践の場に、ダイバーシティの視点を入れ込むワークショップです。前半は女性や外国人、マイノリティへの支援活動が、阪神・淡路からどのように進んできたか、実践者の報告を基に考えます。後半は、浸透・定着に向けた課題を抽出し、啓発教材等の手法を吟味する中で、同志のつながりを促します。

プレゼンテーション		人と防災未来センター 西館 1F ロビー	
P-1	一般向け 子供向け	P-2	一般向け 子供向け
建設会社の防災活動 ■一般社団法人 日本建設業連合会		つくる！なおす！まもる！地域建設業の取り組み ■一般社団法人全国建設業協会	
P-3	自治体向け 一般向け	P-4	自治体向け 一般向け
みんなで考えましょう！「あかり」による防災と取り組み ■一般社団法人 日本照明工業会		ドローン減災士が切り拓く地域防災の未来 ■一般社団法人 ドローン減災士協会	
P-5	企業向け 一般向け	P-6	自治体向け 一般向け
連合災害ボランティアの軌跡～労働組合としてできること～ ■日本労働組合総連合会（連合）		まちを知ることからはじめよう～地図×防災～ ■株式会社ゼンリン	
P-7	企業向け 一般向け	P-8	一般向け
防災 THE PRESS ～インフルエンサーが発信する防災情報～ ■防災 THE PRESS		WEB サイトと紙の本を連動させて、映像に含まれる災害教訓を後世に伝える取り組み ■西日本出版社	
P-9	自治体向け 一般向け	P-10	自治体向け 一般向け
地震調査研究推進本部の取組について ■地震調査研究推進本部／文部科学省		国土強靱化の取組について ■内閣官房国土強靱化推進室	
P-11	一般向け	P-12	一般向け
キキクル（大雨警報・洪水警報の危険度分布）～身に迫る危険を一目で確認～ ■神戸地方気象台		神戸港の震災復旧からこれまで～新たな技術・知見を取り入れたこれからの防災 ■神戸市港湾局	
P-13	一般向け 子供向け	P-14	一般向け
拡げよう！防災士ネットワーク！～防災士の活動紹介と地域防災情報の発信～ ■特定非営利活動法人兵庫県防災士会、兵庫県防災士ネットワーク		地域で活動する防災リーダー・団体と広島市防災士ネットワークの紹介 ■広島市防災士ネットワーク 避難の呼びかけ体制づくりとひろしまマイタイムラインを活用した活動の紹介 ■広島防災リーダーネットワーク会議	
P-15	自治体向け 一般向け	P-16	自治体向け 一般向け
ひょうごの防災 ■兵庫県		関西の広域防災・減災の取組 ■関西広域連合 広域防災局	
P-17	一般向け 子供向け	P-18	一般向け
(1) 東日本大震災津波からの復興の歩みと全国からいただいた復興支援への感謝発信 (2) アバターロボット・360°カメラを活用した東日本大震災津波伝承館の遠隔見学体験 ■若手県		防災模型と防災クイズによる防災学習 ■公益社団法人 日本技術士会 近畿本部	
P-19	一般向け	P-20	一般向け
災害時における薬剤師の活動 ■一般社団法人 兵庫県薬剤師会		災害支援ナースの紹介と看護職から見た住民向けの災害時に慌てない日頃の備えについて ■公益社団法人兵庫県看護協会	
P-21	企業向け 一般向け	P-22	一般向け
住まいを耐震化で安全・安心に～在宅避難のススメ～ ■日本木造住宅耐震補強事業者協同組合		たすけあいを未来につなぐ～自然災害と向き合ってきた「こくみん共済 coop」の取り組み～ ■こくみん共済 coop	
P-23	一般向け	P-24	自治体向け 一般向け
なぎさ地区におけるまちづくりと防災活動の振り返り ■なぎさ防災福祉コミュニティ		マンション群と高齢者の防災 ■港島地区防災対策委員会	

プレゼンテーション		JICA関西 2F 体育館	
P-25	専門向け 自治体向け 一般向け	P-26	専門向け 自治体向け
通信途絶下での速やかな住民避難状況・被災状況の把握技術 ■SIP 国家レンジリエンス（防災・減災）の強化		迅速な災害対応を支える、巡回型情報伝達・共有技術 ■国立研究開発法人情報通信研究機構	
P-27	自治体向け 一般向け	P-28	企業向け 一般向け
守るために壊す・E-ディフェンスがリアルに見せる建物の破壊プロセス・E-ディフェンスが守る「モノ」（建物）と「ヒト」の行動空間（都市と室内空間） ■国立研究開発法人防災科学技術研究所		BCP はじめの一歩！ジギョケイ（事業継続力強化計画）を作ろう！ ■独立行政法人 中小企業基盤整備機構	
P-29	専門向け 自治体向け	P-30	企業向け 自治体向け
頻発する自然災害に備えて～東日本大震災からの復興支援や災害対応支援の取組みの紹介～ ■独立行政法人都市再生機構		防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト ■防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト	
P-31	自治体向け 一般向け	P-32	自治体向け 一般向け
よんなな防災会を通じて全国の素敵な人と繋がりませんか？ ■よんなな防災会		よんなな女子部員おすすめ！全国のステキな防災冊子を集めました♪ ■よんなな防災会女子部	
P-33	企業向け 自治体向け	P-34	自治体向け 一般向け
最新の地震・自然災害対策の情報を発信。「震災対策技術展」／「防災グッズ EXPO」のご紹介 ■「震災対策技術展」事務局／エグジビションテクノロジーズ（株）		足紋採取会 ■特定非営利活動法人全国足紋普及協会	

P-35	自治体向け 一般向け
全国統一型避難誘導標識の普及・啓発について ■特定非営利活動法人都市環境標識協会	
P-37	自治体向け 一般向け
防災チャットボット「SOCDA」展示ブース ■AI 防災協議会	
P-39	専門向け 自治体向け
地域とともに災害から文化財をまもる ～文化財防災センターの取り組み～ ■独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター	
P-41	自治体向け 一般向け
地域防災・学校防災・東日本大震災 ■Y Y 防災ネット	
P-43	専門向け 自治体向け
平成 30 年西日本豪雨災害後の避難意識調査の時系列的分析 ■県立広島大学 防災・減災社会システムデザイン研究センター	
P-45	自治体向け 一般向け
「東日本大震災からの復興の中での福島大学の取り組み」 ■福島大学地域未来デザインセンター	
P-47	自治体向け 一般向け
「防災環境都市・仙台」の実現に向けて ■仙台市防災環境都市推進室	
P-49	企業向け 自治体向け
つながる・人の輪・防災の輪 ■自治体研究会	
P-51	自治体向け 一般向け
東日本大震災の教訓を活かし、南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進めよう ■南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める 10 県知事会議	
P-53	企業向け 自治体向け
「防災喫煙所 イツモシモステーション」のご紹介 ■JT × プラス・アーツ	
P-55	一般向け 子供向け
福祉施設の BCP バーチャルシミュレーションゲーム 災害想定ゲーム【KIZUKI】・楽しんで学ぶカードゲーム【防災神経衰弱】 ■NPO 法人高齢者住まいの研究会	
P-57	自治体向け 一般向け
「福祉防災のこれから」 ■NPO 法人日本防災環境	
P-59	企業向け 自治体向け
SDGs に寄与する防災備蓄品の有効活用 ■公益社団法人 日本非常食推進機構	
P-61	専門向け 一般向け
「Build Back Better（よりよい復興）」に関する経験と教訓の発信 ■国際復興支援プラットフォーム（IRP）	
P-63	企業向け 自治体向け
「災害復興協力チーム」「生き残る為の備え」 ■一般社団法人DRCT「災害復興協力チーム」	

P-36	企業向け 自治体向け
ムービングハウスを活用した災害対応 ■一般社団法人 日本ムービングハウス協会	
P-38	自治体向け 学生向け
野島断層からのメッセージ ■北淡震災記念公園	
P-40	自治体向け 一般向け
地域防災の実戦！ 5つのメッセージ／げんさい楽座スピンオフ IN 兵庫 ■清流の国ぎふ防災減災センター げんさい未来塾	
P-42	自治体向け 一般向け
産官学民連携による地域減災社会の共創 ■あいち・なごや強靱化共創センター	
P-44	専門向け 学生向け
公立大学防災研究教育センター連携会議及び加盟大学の紹介 ■公立大学防災研究教育センター連携会議（兵庫県立大学）	
P-46	自治体向け 一般向け
地域と大学が取り組む 災害時避難の課題解決の取り組み ■公立大学法人岩手県立大学	
P-48	自治体向け 一般向け
熊本地震から6年、令和2年7月豪雨から2年。創造的復興に向けて取り組んでいる熊本の経験や教訓を発信します。 ■熊本県	
P-50	自治体向け
民間事業者と協力した広域避難場所確保の取組 ■吹田市	
P-52	企業向け 一般向け
企業が手をつなぐことで広がる防災・災害支援を知ろう ■浜松の企業が手をつなぐ災害支援ネットワーク はままつ na net	
P-54	一般向け 学生向け
若年層における地域防災力向上の取り組み ■株式会社リブライト	
P-56	自治体向け 一般向け
福祉 BCP と福祉避難所 ■一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会	
P-58	自治体向け 一般向け
地域で考える防災～食物アレルギー～ ■一般社団法人 LFA Japan LFA 食物アレルギーと共に生きる会 チーム神戸	
P-60	自治体向け 一般向け
医師が解説。「災害時の熱中症・脱水症を回避するには？」 ■教えて！「かくれ脱水」委員会	
P-62	企業向け 自治体向け
災害時の外国人支援～多言語表示、指差しで会話ができるツール、多言語版マイ・タイムライン検討ツール、外国人支援の取組を紹介！～ ■一般財団法人 自治体国際化協会（クリア CLAIR）	
P-64	一般向け 子供向け
ザブトン教授の防災教室 ■全国共済農業協同組合連合会（JA共済）	

プレゼンテーション

IHDセンタービル 2F 交流ギャラリー前ロビー

P-65	一般向け
外国人と災害時のコミュニケーション体験 ～色んなツールで話してみよう！！ ■公益財団法人兵庫県国際交流協会	
P-67	自治体向け 一般向け
「防災アニメをはじめ、災救マップやたすかねんなど IT を活用した防災・減災の取り組みを紹介」 ■特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク	
P-69	一般向け 子供向け
神社で防災 ■いきいきネットワーク防災の会	

P-66	一般向け 学生向け
災害看護ガールズ プレゼンツ！ ■公益財団法人 米日カウンセラーズジャパン TOMODACHI J&J 災害看護プログラム	
P-68	一般向け 学生向け
「災害ボランティア活動の紹介」 ■ひょうごボランタリープラザ（兵庫県社会福祉協議会）	
P-70	一般向け 学生向け 子供向け
明石から発信する防災活動 ■明石工業高等専門学校・兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科	

P-71	自治体向け 一般向け
From Po-1 “響け♪ エール！”プロジェクト・災害支援、熊本にエール！を ■神戸学院大学附属中学校	
P-73	一般向け 学生向け
南海トラフ時代の私たち ■関西国際大学防災士サークル (KUISs BOSAI)	
P-76	自治体向け 一般向け
子どもたちが自ら考えて行動する力を身につける体験学習 ■(一社)72 時間サバイバル教育協会	
P-78	企業向け 自治体向け
日本全国で、子供たちに対する防災教育プログラム(ジュニア防災検定)の実践や、高校生、大学生への防災教育、社会人への防災・危機管理研修会の開催。防災士のフォローアップ研修、少年消防クラブ・消防団研修。防災関連出版物などの企画・監修業務など。 ■一般財団法人 防災教育推進協会	
P-80	自治体向け 一般向け
段ボールジオラマ防災授業 ■防災ジオラマ推進ネットワーク	
P-82	一般向け 学生向け
宮城県多賀城高等学校 防災減災教育の取組～未来の防災・減災・伝承の担い手とともに～ ■宮城県多賀城高等学校	
P-84	学生向け 子供向け
高校生と地域コミュニティづくりを考える ■兵庫県立尼崎小田高等学校看護医療・健康類型	
P-86	一般向け 子供向け
子ども・若者への防災教育 災害に強い未来を共に創ろう ■ママコミュ!ドットコム×特定非営利活動法人レジリエンス教育研究所×大阪府立水部国際中学・高等学校防災部	
P-88	一般向け
災害時の子育て ～平成30年7月豪雨災害と子育て研究会真備町より～ ■災害と子育て研究会	

P-72	一般向け 学生向け
やってみたくなる防災 一神戸学院大学 防災女子の活動事例紹介一 ■神戸学院大学 防災女子	
P-75	自治体向け 子供向け
未就学児向け防災教材「ポケモンぼうさいきょうしつ」 ■一般財団法人 ポケモン・ウィズ・ユー財団	
P-77	自治体向け 一般向け
いのちを守る防災教育の実践 ■一般社団法人防災教育普及協会	
P-79	一般向け 子供向け
防災自助は子供の頃から始まる！ ■NPO 防災自助普及委員会	
P-81	一般向け
『“稲むらの火”って知ってますか？～こんな時代だからこそ！考えよう、人といのちの大切さ～』 ■わのわプロジェクト	
P-83	自治体向け 学生向け
震災・学校支援チーム (EARTH) の活動について ■兵庫県教育委員会	
P-85	一般向け 子供向け
絵本×オンライン×地域×ママの防災活動紹介 ■防災ママかきつばた	
P-87	一般向け 子供向け
赤ちゃんとお母さんをみんなで守ろう ■一般社団法人 日本助産学会	
P-89	一般向け
※JICA関西 1F JICA の国内外における防災・復興支援を通じた災害リスク削減の取り組み ■独立行政法人 国際協力機構 (JICA)	

プレゼンテーション

Po-1	一般向け 子供向け
災害とペット ペット防災の最前線から命を紐解く 一Life with PET 一 ■WPP グループ Japan Pet Press	
Po-3	自治体向け 一般向け
「災害時の子どもの居場所の作り方」 ～遊びと学びを通じた子どものこころのケアのために～ ■災害時の子どもの居場所 (CFS) 協議会	
Po-5	自治体向け 一般向け
地域住民組織 (区会) 主導による 地区防災計画立案に向けた取り組み ■薄磯まちづくり検討委員会、薄磯区会	
Po-7	自治体向け 一般向け
防災ナッジをつくってみよう～防災ナッジワークショップ～ ■よんなな防災会ナッジユニット 行動防災チーム	
Po-9	一般向け
キッズ防災士の紹介 ■一般社団法人 ひろしま防災減災支援協会	
Po-11	自治体向け 子供向け
ママ気象キャスターが伝える、幼児からのお天気防災プログラム ■そらり	
Po-13	一般向け 学生向け
若者による食を通じた東北との関わり ～きっかけはすぐそばに～ ■NPO 法人きっかけ食堂	
Po-15	専門向け 企業向け
産官学の連携で防災ビジネスのイノベーションを推進！ ■一般社団法人 日本防災プラットフォーム (JBP)	

オンライン

Po-2	一般向け 子供向け
みえ防災・減災センター及びみえ防災・減災アーカイブの紹介 ■三重県・三重大学 みえ防災・減災センター	
Po-4	一般向け
宮城県震災復興パネル展「あなたの応援を力に。今までも。これからも。」 ■宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課	
Po-6	自治体向け 一般向け
地域を守り、くらしを守る ■イオン株式会社	
Po-8	自治体向け 一般向け
火山防災トップシティ 鹿児島市 ～大規模噴火に備えた火山防災対策～ ■鹿児島市	
Po-10	一般向け
避難者の次のステップへのサポートと関わり ■ひろしま避難者の会 アスチカ	
Po-12	専門向け 一般向け
国内外で活躍する「災害看護グローバルリーダー」の活動紹介 ■災害看護グローバルリーダー養成プログラム (DNGL)	
Po-14	学生向け
情報・人・機会が集まる「防災ユースの広場」 ■U-Inspire JAPAN	
Po-16	一般向け 子供向け
いのちを守る@防災劇場 (マジックパフォーマンスショー) ■一般社団法人いのちを守る at プロジェクト JAPAN	

屋外展示

なぎさ公園

O-1	自治体向け 一般向け 学生向け 子供向け
防災に取り組む国土交通省 ■国土交通省 近畿地方整備局 国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所 国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所 震災伝承ネットワーク協議会（国土交通省 東北地方整備局）	
O-3	自治体向け 一般向け
「移動式災害ボランティアセンター号」 「福祉避難所向け 自動排泄処理装置」の展示 ■全国災害ボランティア支援機構	
O-4	一般向け
災害時にも大切な人とつながるために ■株式会社 NTT ドコモ 関西支社 神戸支店	
O-5	専門向け 一般向け
屋外展示：移動式災害医療トレーラー Medical-ConneX 展示 ■一般社団法人 日本災害医学会	
O-6	自治体向け 一般向け
「やむをえない車中泊避難への備え」と 「障がい者の命をつなぐモバイルトイレ」 ■トヨタ自動車株式会社 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 川本健太郎 研究室	
O-7	自治体向け 一般向け
やるなら安全な車中泊避難を ■一般社団法人 日本避難所支援機構	
O-9	現地企画 一般向け 子供向け
【共同プロジェクト】災害時の医療対応を学ぼう (発災直後から避難所まで) ■兵庫県災害医療企画実行委員会	
O-10	自治体向け 一般向け
災害時に深刻化するトイレ問題解決に向けて！ ■災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」 兵庫県南あわじ市	
O-11	専門向け 自治体向け 一般向け 学生向け 子供向け
学生による防災体験 & 展示会 ■兵庫県立淡路景観園芸学校 北陸大学 名古屋学芸大学 兵庫県立大学学生災害復興支援団体 LAN Seagull Rescue (シーガルレスキュー) 特定非営利活動法人ワカモノチカラプロジェクト 神戸大学学生震災救援隊 よんなな防災会学生部 TKK3 大学連携プロジェクト 神戸国際大学防災救命クラブ (DPLS) 防災リテラシー研究所	
O-12	一般向け 子供向け
消防団防災学習・災害活動車の紹介 ■兵庫県香美町	
O-13	一般向け 子供向け
遠距離でもこんなに繋がれる、一緒に学べる、支え合える。 こんな共助の形もあっていいよね。 ■遠く離れても一緒に活動し隊！ ～イクシーとゆかいな仲間たち～	
O-14	自治体向け 一般向け
逃げ遅れゼロプロジェクト!! 要配慮者の避難支援を!!! ■一般社団法人 epo おかやま笑顔プロジェクト	
O-15	企業向け 自治体向け 一般向け
電気自動車等を活用した停電対策 ～フェーズフリーな防災を考える～ ■日産自動車株式会社 神戸市危機管理室・神戸地区トヨタ販売店・AI 防災協議会 兵庫三菱自動車販売株式会社	
O-16	自治体向け 一般向け
学ぼう！六甲山の治山事業、進めよう！！住まいの耐震化 ■兵庫県	

O-17	一般向け 子供向け
妊産婦と小さなお子さんを持つ方へ「備えよう！我が家の防災」 ■兵庫県助産師会 災害対策委員会	
O-18	専門向け 一般向け
専門の知恵を集めて、被災のみらいを支える ■近畿災害対策まちづくり支援機構	
O-19	一般向け
地震に備える事前準備 ■さんだ防災リーダーの会	
O-20	自治体向け 一般向け
災害用トイレ（携帯・簡易トイレ・仮設トイレ）の実物展示及び 過去災害時のトイレ状況案内。 ■一般社団法人 日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会	
O-21	一般向け 学生向け
忘れない これからも 1.17 3.11 ■神戸心絆	
O-22	一般向け 子供向け
「まちキャラパーク In ぼうさいこくたい KOBE 2022」 ■まちキャラパーク実行委員会	
O-23	自治体向け 一般向け
「被災地で活動する災害救助犬 // ペットの災害対策」 ■（認定）特定非営利活動法人 日本レスキュー協会	
O-24	学生向け 子供向け
1.17 を忘れない。命の一本桜プロジェクト ■アトリエ太陽の子 ボランティア部	
O-25	一般向け 子供向け
NTT 西日本の災害に対する取組み (災害用伝言ダイヤル 171 の体験・災害対策機器の展示) ■西日本電信電話株式会社 兵庫支店	
O-26	企業向け 自治体向け
”ぼうさいのフジタ” ～総合建設会社によるハード/ソフトぼうさいへの取り組み ■株式会社フジタ	
O-27	企業向け 自治体向け
「防災・減災に関わる企業・団体の課題解決策や 研修会・勉強会の事例紹介について」 ■防災企業連合 関西そなえ隊	
O-28	子供向け
小学生による「ぼうさい探検隊」マップ作成 ■一般社団法人 兵庫県損害保険代理業協会	
O-29	自治体向け 一般向け
ディープな防災・災害情報を求めるなら、防災専門図書館へ！ ■防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）	
O-30	専門向け 一般向け
先進 IoT 技術を用いた災害対応 ■関西学院大学インテリジェントブロックチェーン+イノベーションリサーチセンター 特定非営利活動法人兵庫県防災士会 一般社団法人地域再生・防災ドローン利活用推進協会 (RUSEA) 兵庫三田支部	
O-31	専門向け 一般向け
3分間の豪雨・暴風疑似体験学習アトラクション「HERASEON-R」 ■一般財団法人日本気象協会	
O-32	専門向け 企業向け 自治体向け 一般向け 学生向け
地域と時間の両軸から震災と向き合い、教訓を伝える。 ■東日本大震災・原子力災害伝承館 日本ジオパークネットワーク 国立歴史民俗博物館 大槌町震災伝承プラットフォーム 一般社団法人おらが大槌夢広場 災害語り部ネットワーク 公益社団法人 3.11 メモリアルネットワーク	
O-33	企業向け 自治体向け 一般向け
人もペットも災害対応（ペットと一緒にの避難 準備は大丈夫？） ■NPO 法人ペット防災サポート協会 環境省自然環境局総務課動物愛護管理室 認定特定非営利活動法人人と動物の共生センター	

ポスターセッション

人と防災未来センター 東館 こころのシアター前通路

出展番号	タイトル	主催団体名
PS-1	縁活「ひまわり架け橋プロジェクト」	縁活
PS-2	まさか被災するなんてー自分は大丈夫なのかー	一般社団法人 危機管理・労働災害防止機構
PS-3	明日への支度プロジェクトー写真とコトバの減災復興展	僕らのヒトシズク
PS-4	「伊勢湾台風カルタ」で“未来につなぐ災害の経験と教訓”	名古屋市
PS-5	被災地の公務員が全力でまちのために働けるように、公務員の家と家族を支える互助の仕組み	一般社団法人アスミー
PS-6	World BOSAI Forum2023 のご紹介	一般財団法人 世界防災フォーラム
PS-7	第37回防災ポスターコンクール入賞作品	内閣府・防災推進協議会
PS-8	被災地から被災地へ復興経験をつなげるー神戸復興塾 3.11 支援集会の活動ー	神戸復興塾 3.11 支援集会
PS-9	災害復興と復興災害	兵庫県震災復興研究センター
PS-10	災害・復興ボランティアと大学の未来ー全国で神戸大学生が共に築いてきたもの	神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門
PS-11	地域と共に学ぶ～「佐用合同防災訓練～KIZUNA 大作戦～」を企画運営して～	兵庫県立佐用高等学校 家政科

ポスターセッション

JICA関西 3F セミナー室35・36

出展番号	タイトル	主催団体名
PS-12	5 x 5メタナースプロジェクト	5 x 5 MetaNurse Kobe
PS-13	【災害救護の展望と災害救護研究所への期待】	日本赤十字看護大学附属災害救護研究所
PS-14	神戸大学大学院海事科学研究科におけるマリンハザード研究	神戸大学大学院海事科学研究科 津波マリンハザード研究講座
PS-15	眼科災害医療～これまで・これから～	兵庫県眼科医会
PS-16	「阪神・淡路大震災の教訓を今にー災害から命を守る家づくりとはー」	一般社団法人 防災住宅研究所
PS-17	全国被災地語り部シンポジウムと語り部の取組み	全国被災地語り部シンポジウム実行委員会
PS-18	日本地球惑星科学連合の防災に関わる活動	公益社団法人日本地球惑星科学連合
PS-19	コミュニティ防災人材育成システムー MUSUBOU ー	大阪公立大学 都市科学・防災研究センター
PS-20	レジリエンスの高い持続力のある社会を目指して	株式会社明電舎、株式会社レジリエンスラボ
PS-21	大規模災害化の通信途絶発生時のローカル通信技術	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)
PS-22	老いも若きもみんな いっしょに避難。介助運搬車（手押し車）	NPO 法人 日本防災用品技術研究協会
PS-23	「メイド・イン高知」の防災関連登録製品のご紹介	高知県
PS-24	地震火災の脅威に備える	ニッショウ機器株式会社
PS-25	イーブロックを軸とした「循環型で持続可能な電源インフラ」構築のご提案	パナソニック株式会社エレクトリックワークス社
PS-26	身近にある水から飲料水を確保し、命を守る	KG ホールディングス株式会社
PS-27	ドローンマッピングの災害時利活用について	株式会社矢野商店
PS-28	これからの避難所に是非用意して頂きたい”ココBOX II” & ”福祉バイオトイレカー”	ビット・パーク株式会社
PS-29	自助期間を生き残るための簡易トイレセット「BENKING/ 便王」高密度発泡スチロール製組立式簡易トイレ	株式会社 C-SOS
PS-30	ノンアルコール・アトピー肌用化粧品から生まれたウエットティッシュ（化粧品類）！	エピスタ コーポレーション／株式会社プリート
PS-31	航空レーザ計測の可視化技術を活用した土砂災害や落石に関する調査・設計	株式会社 フジヤマ

出展番号	タイトル	主催団体名
PS-32	日本初の防災備蓄提供サービス「あんしんストック」のご紹介	株式会社 Laspy
PS-33	フォトグラメトリーによる災害の見える化	Pix4D 株式会社
PS-34	家庭も事業所も『防災備蓄が当たり前の日本』を目指して各種講座のご紹介	一般社団法人 防災備蓄収納プランナー協会
PS-35	いざという時にそなえて 電池の上手な備蓄	FDK 株式会社
PS-36	防災ゲーム「クロスロード」を体験しよう！	神戸クロスロード研究会
PS-37	おとなも子どもも なかよくなると→ぼうさい	なるとにし てとてとて
PS-38	わくわく防災のスヌメ	一般社団法人社会応援ネットワーク
PS-39	神戸市における防災教育の紹介	神戸市教育委員会
PS-40	防災対策用 タングステン耐切創手袋	パナソニック ライティングデバイス株式会社
PS-41	「感電ブレーカー“光る”おもり君」実用新案登録第3234813号	株式会社ブルーウッド
PS-42	いつもの野菜不足は、もしもの時はもっと足らなくなるがテーマ。野菜の非常食だけ「いつもともしも やさいぼうさい」	有限会社西谷
PS-43	災害食を通じて人々を支える	ホリカフーズ株式会社
PS-44	身近にある救助用品	竹内工業株式会社
PS-45	飲み水だけでは不十分、生活用水も確保しませんか？	大丸鐵興株式会社
PS-46	関西大学社会安全研究科の国際・社会人コースの先進性	関西大学社会安全研究科

【ご来場の皆様にご案内】

●発生したゴミについて

会場内にはゴミ箱はありません。ゴミは各自お持ち帰りいただきますよう、お願い申し上げます。
※キッチンカーで購入された商品を食べ終わったあとに発生したゴミは、各キッチンカーで設置するゴミ箱に捨てるのが可能です。

●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

以下の点にご留意いただき、ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

・健康管理の徹底

(体温が 37.5℃ 以上の場合、また咳、倦怠感等の風邪症状がある場合、味覚・喉の異常がある場合は参加をお控えください。)

・「3密」(密閉・密集・密接)の回避・身体的距離(ソーシャルディスタンス)の確保

(各会場、セッションごとに参加人数の条件を設けます。恐れ入りますが、定員に達した場合の参加はご遠慮ください。)

・マスクの着用、咳エチケットの徹底

(屋外で人と十分な距離(少なくとも 2m 以上)が確保できる場合は、マスクを外しても構いません。)

・手洗い・手指消毒

(入場時及び各プログラムの参加前、参加後のいずれにおいても、手洗いやアルコール消毒を徹底ください。)

10月22日(土)

イグナイトステージ		JICA関西 2F 体育館	
出展番号	出展時間	タイトル	主催団体名
IG-1	12:30 ~ 12:45	国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」の取り組みについて	国立国会図書館
IG-2	12:55 ~ 13:10	災害時でも、みんなが「ホッと」出来る食事をご提案!	ハウス食品グループ本社(株)
IG-3	13:20 ~ 13:35	災害多発・多様化時代を迎え撃つ、個人・団体・そして自治体の新しい「備え」の体験	株式会社 MT-NET
IG-4	13:45 ~ 14:00	初出展! みんなで実践!! ころといのちを守る縄文式健康法!!! (手話付き)	KOBE 防災コミュニケーションズ 縄文式健康法チーム
IG-5	14:10 ~ 14:25	ペットも家族! ペットと一緒に避難できるちびねこテント、安全に猫を保護できる猫保護器	クラーク株式会社
IG-6	14:35 ~ 14:50	防災大学生が選挙を斬る!	神戸学院大学クローズアップ 社会研究会
IG-7	15:00 ~ 15:15	みんなのまわりはだいじょうぶ? ~子どもから大人へ広げる防災~	名古屋大学 減災連携研究センター
IG-8	15:25 ~ 15:40	BCP 対策について	エリーパワー株式会社
IG-9	15:50 ~ 16:05	「私の地域の雨量計」による自助防災支援サービス開発の取り組み紹介 ~地域の正しい降雨量把握による一人ひとりの危険度見える化で避難行動支援~	RainTech 株式会社
IG-10	16:15 ~ 16:30	災害時の孤立化に挑み続ける自主防災組織の取り組み、民間企業と模索したかつてないチャレンジ	ヴィガラクス株式会社
IG-11	16:40 ~ 16:55	人と人とを結ぶ防災ヘルプサービス ~災害時の共助避難の新たな可能性~	株式会社パソナ
IG-12	17:05 ~ 17:20	防災ビジネス創造と育成の研究会 (RC77)、World BOSAI Forum のご紹介	株式会社防災ログ

10月23日(日)

イグナイトステージ		JICA関西 2F 体育館	
出展番号	出展時間	タイトル	主催団体名
IG-13	10:30 ~ 10:45	靴メーカーが考えた約1分で組み立てられる段ボールベッド【ひらいてポン】2人部屋	株式会社 KEiKA コーポレーション
IG-14	10:55 ~ 11:10	「エアーストレッチャー ~様々な災害に対応した自吸式万能担架~のご紹介」	エアーストレッチャー株式会社
IG-15	11:20 ~ 11:35	自身の安否や、支援物資の要望を「見せる」「伝える」防災グッズ	シンロイヒ株式会社
IG-16	11:45 ~ 12:00	災害ファーストエイド ~災害時の怪我に備える救急包帯の使い方~	株式会社PKウエーブ
IG-17	12:10 ~ 12:25	防災避難着 早期発見全身反射ポンチョ	株式会社スギタ
IG-18	12:40 ~ 12:55	「使用しないときはコンパクトに収納でき、使うときは空気を入れるだけですぐに使える。」特性を活かしたエア式の防災商品	株式会社ワン・ステップ
IG-19	13:05 ~ 13:20	停電時の自家発電自動切換えシステム (ATS) と LP ガス発電機と IoT 端末・クラウド連携による遠隔監視システムのご紹介	東西商事株式会社
IG-20	13:30 ~ 13:45	津波防災を効果的に多重化する複数の対策	防波システム研究所



スマートフォンを使った デジタルスタンプラリー を2つご用意しました!



スタンプラリーアプリ
「furari」
ダウンロードはこちらから

第一弾

「27年前の阪神・淡路を動画でみてあるく」

(9月1日より開催中)

期間：令和4年9月1日(木)～令和5年1月17日(火)

概要：27年前の阪神・淡路大震災の「当時の状況」と「現在までの復興の歩み」に触れてみませんか？神戸市内を中心としたまちあるきを通じて、震災の教訓を学べるスタンプラリーです。



「激震の記録1995 取材映像アーカイブ」より

第二弾

「ポケモンぼうさいきょうしつ 災害が起きたらどうする!？」

期間：令和4年10月22日(土) 10:00～18:00

10月23日(日) 10:00～15:30

※大会開催時間内での実施となります。ご注意ください。

概要：万が一の災害時に、身を守るために必要なヒントをポケモンと一緒に学ぼう！親子でお楽しみいただけるスタンプラリーです。

※デザイン提供：一般財団法人ポケモン・ウィズ・ユー財団



©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

ぼうさいいくたい2022併催イベントのご案内

主催：環境省 ※事前予約制

令和4年度災害廃棄物対策推進シンポジウム

災害の復旧・復興期に重要となる災害廃棄物対策に関するシンポジウムです。今年度は「災害廃棄物処理の経験の伝承」をテーマに、災害発生時における国、自治体、民間事業者等の役割や過去の災害廃棄物対策の事例紹介、パネルディスカッション等を実施します。

■開催日時：令和4年10月23日(日) 12:30～16:00

■開催場所：兵庫県立美術館 ミュージアムホール

■お問い合わせ先：

災害廃棄物対策推進シンポジウム運営事務局

(株式会社オーエムシー内) 担当：朱雀、前田

メール：haikitaisaku@omc.co.jp TEL：03-5362-0117

■ホームページ：http://kouikishori.env.go.jp/



令和元年度の様子

主催：日本赤十字社兵庫県支部

あなたは、大切な人を救えますか？

① 兵庫県赤十字救急法競技大会(事前申込者対象)見学可能

② 防災・減災体験ツアー(当日参加募集)

防災すごろく：遊びながら防災の知識をつけられるゲームです。

ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん：災害時に「どんな行動をすると、どうなるのか」考えてみましょう。

③ 50人一心肺蘇生 一心肺蘇生とAEDの使い方

■開催日時：① 令和4年10月22日(土) 10:00～16:00

② 令和4年10月23日(日) 10:30～13:30

③ 令和4年10月23日(日) 14:00～15:30

■開催場所：国際健康開発センター(I.H.D. センタービル) 9階国際会議室

■お問い合わせ先：日本赤十字社兵庫県支部 奉仕課 TEL：078-241-8922

■ホームページ：https://www.hyogo.jrc.or.jp/news/update/2022/08/26/8513/



ALL HAT ひょうご防災フェスタ 2022 出展団体

出展番号	団体名	実施内容
HAT-1	気象庁神戸地方気象台	気象・地震の観測装置や関連パネルの展示、また、液状化などの実験を行います。
HAT-2	ALL HAT 減災ヴィレッジ	飲食の備え、段ボールベッド、通信手段等のテーマで、防災用品等の現物を展示するミニブースを展開。ろっこう紙芝居サークルも出展します。
HAT-3	日本赤十字社兵庫県支部	災害救護活動を体験しよう!!! エアドームテントを核に、各種救護活動を体験するプログラムを展開します。(無線体験、救援物資搬送、自動ラップ式トイレ設置、ロープワーク、包帯法、車いすの使い方、ガイドヘルプ、段ボールベッドの作り方、子供救護服の着用・記念撮影)
HAT-4	ALL HAT ブース	例年 ALL HAT (HAT 神戸防災訓練) を実施している、HAT 神戸の地域住民組織のブースです。HAT 神戸のガイドマップの展示・配布などを行います。
HAT-5	神戸市消防局 中央消防署 神戸市消防局 中央消防署 車両展示	10/23 14:20、デモンストレーション訓練を実施します。救助隊員による人と防災未来センター西館屋上からの降下と、建物に向けた消防車からの一斉放水。 複数台の消防車両を展示します。
HAT-6	兵庫県産業労働部観光局観光振興課	家庭における防災用品セットの備えや、食の備え(ローリングストック)等を紹介し、関連の具体用品を展示販売します。
HAT-7	NHK 神戸放送局 NHK 神戸放送局 中継車	明日をまもるナビ 防災体験として、「チョコちゃんクロスロード」「NHK プラス体験機」「震災動画モニター」等を実施します。 TV 放送の中継車を展示します。
HAT-8	神戸市水道局	10/22 10:00-14:00、神戸市が設置する応急給水拠点設備から給水所を開設する訓練を実施・デモンストレーションします。
HAT-9	神戸市消防局	VR(仮想現実)ゴーグルによる土石流疑似体験。早期避難の大切さを伝えます。
HAT-10	神戸市消防局 地震体験車	地震体験車により、地震の揺れの体験を提供します。(10/22は神戸市車両、10/23は兵庫県車両で共同実施します。)
HAT-10	兵庫県広域防災センター 地震体験車 兵庫県広域防災センター 車両展示	10/23、特殊車両「小型オフロード消防車」を展示します。
HAT-11	兵庫県警察 兵庫県警察 車両展示	兵庫県警察による災害時の活動を紹介する写真パネル等を展示します。 警察の特殊車両「高性能救助車」「ランドクルーザー」を展示します。
HAT-12	防衛省自衛隊兵庫地方協力本部 防衛省自衛隊兵庫地方協力本部 車両展示	自衛隊による災害被災地における救出や支援活動を紹介するパネル展示等を行います。兵庫地方協力本部のキャラクター「ひょうちん」来場! 自衛隊の特殊車両を展示します。
HAT-13	国土交通省近畿地方整備局 神戸港湾事務所 神戸港湾事務所 船舶の接岸(展示)	10/22、港湾作業船「ドクター海洋」を接岸し、港湾作業船による活動などを紹介するパネル展示を行います。
HAT-14	兵庫県立舞子高等学校	高校生が屋外空間を利用した体験コーナー「ひまわり防災楽習迷路」を設置し、運営します。是非ご参加ください!
HAT-15	ALL HAT ひとぼうステージ	ぼうさいこくたいに全国から訪れるみなさまを、開催地兵庫・神戸としてお迎えする想いを込めた、多彩なステージプログラムを終日展開します。
HAT-16	ALL HAT ひとぼうブース	ひとぼうステージ出演者・プログラムに関わる交流ブースです。



ALL HAT ひとぼうステージ 実施プログラム・出演団体 情報

出展番号	プログラムタイトル	実施内容
ST-1	シェイクアウト in ぼうさいこくたい 2022	10/22 12:12 地震発生を想定したシェイクアウト訓練を実施します。ぼうさいこくたいに出展・参加のみなさん、ご参加ください！
ST-2	ろっこう紙芝居サークル	紙芝居による防災啓発を行うグループによる紙芝居を実演します。
ST-3	ハッピー泡一ず「ひとごとやおまへんで」	人と防災未来センター ディザスター・マネージャーズから生まれたコントユニットが楽しい時間をお届けします。
ST-4	ドローンの実演との連動プログラム	なぎさ公園に面する海上からアナウンス放送を流すドローン実演を展開します。
ST-5	災害伝承ミュージアム・セッション	オンラインセッション So-7 と連動し、日本全国の災害伝承ミュージアムから、ぼうさいこくたい 2022 に参集する施設・団体等を紹介しします。
ST-6	ALL HAT 減災ヴィレッジ ステージ	ALL HAT ひょうご防災フェスタ 2022 に出展・参画する団体・活動等より、全国から神戸に来られたみなさまを歓迎し、メッセージをお伝えします。
ST-7	つなぐ、地域と大学の27年 神戸大学災害・復興ボランティアの全国展開と地域連携のこれから	神戸大学地域連携推進本部が主催する、セッション型プログラムを実施します。10/23 10:30～90分
L-1	COMING KOBE 22 EXTRA ひとぼう STAGE in ALL HAT	阪神・淡路大震災の恩返しをテーマに例年開催のチャリティーライブフェス「カミコベ」のスピンオフ企画が実現！神戸発、複数ミュージシャンによるライブ&トークを展開。【出演】UCARY & THE VALENTINE / PULPS / ムノーノモーゼス / MACK JACK O.A: こんそめばんち☆木村 (カミングライダー 2016) / 伊藤たのし / LOCANDA
L-2	防災・減災・音楽フェス BGM スクエア in ALL HAT	Bloom Works が総合プロデュースし例年開催の、全国の複数のミュージシャンがつかがる防災音楽ライブイベントを、今年は ALL HAT で開催！【出演】時東あみ / 幹 miki (from 宮城) / Shiti Maghfira (from インドネシア) / ピンクの種 / 浦川豪 / 進藤久明 (from 熊本) / 兵庫県立星稜高等学校コーラス部、吹奏楽部 / Bloom Works

ALL HAT ひとぼうステージタイムスケジュール

10月22日 (土)

12:00～12:20 ひとぼうステージ Opening & Shake Out ! 訓練
 12:20～12:40 ST-2
 12:40～13:00 ST-6 ①
 13:00～13:20 ST-5
 13:20～13:40 ST-6 ②
 14:30～18:30 L-1 ※ 15:05-15:20 ST-3 インサート
 18:30～19:30 ぼうさいこくたい ALL 関係者 Night Session

10月23日 (日)

10:00～10:30 ひとぼうステージ Opening & コント: ハッピー泡一ず
 10:30～12:00 ST-7
 12:45～15:30 L-2
 14:20～14:30 ※インサート神戸市消防局 デモンストレーション訓練
 ※当日、タイムスケジュールが変更となる場合があります。
 詳しくは、同時開催「ALL HAT ひょうご防災フェスタ」の特設サイトでご確認ください。
<https://hitobou.com/allhat2022/>
 (ステージの様子は一部を除き、オンライン生配信でもお届けします。)

関連プログラム

出展番号	団体名	実施内容
OP-1	みなとのもり公園運営会議	10/22 の午前1回、午後1回、神戸市内の震災関連要所を巡るミニバスツアープログラムを実施します。
OP-2	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科	ぼうさいこくたい開催地である HAT 神戸の「まち歩きガイドツアー」等を実施します。
OP-3	脇の浜ふれあいのまちづくり協議会	ALL HAT の主催構成団体の両まち協は、会場への出展参画と並行し、両地域の拠点施設である「地域福祉センター」を、会期中一般公開し、全国からの来場者をお招きするプログラムなどを行います。
OP-4	なぎさふれあいのまちづくり協議会	
OP-5	人と防災未来センター 特別無料観覧	メイン会場である観覧施設「人と防災未来センター」は会期の2日間、無料でご見学いただけます。またぼうさいこくたいの開催に合わせた、「資料室」による特別展示、「野島断層切り取り標本の展示」なども行っています。
OP-6	来場者向け防災士ガイドボランティア	JICA 関西前の総合インフォメーション (P5 参照) にて、障害を持つ方々を含み、ぼうさいこくたいに訪れる様々な方々に向け、会場のご案内係をボランティアに実践します。
OP-7	With ユース	ぼうさいこくたい 2022 に 1 人でも多くの若者に参加いただくことを願い、来場と情報交流を促す企画「With ユース」を実践します。
OP-8	ぼうさいこくたい 2022 現地からウェルカム! 広報アクション	防災・音楽ユニット Bloom Works が広報宣伝大使!? となって、ぼうさいこくたいの事前告知動画を制作、YouTube 配信して盛り上げ、当日を迎えます。

ぼうさいこくたい2022 キッチンカーのご案内

出展日	No.	事業者名	メニュー
10月22日 (土)	1	Funk's kichencar	カレー
	2	ミバエモバエル	ソーセージ、トルティーヤ、フロート
	3	たむらまる	串カツ、ソフトドリンク
	4	Mr.Shrimp	ガーリックシュリンプ
	5	ソライロカフェ	ホットドッグ、ソフトドリンク
	6	ボンジョルネ	ビーフシチュー、キッシュ、カヌレ、ソフトドリンク
10月23日 (日)	1	Lucky Chubby	ポーク玉子おにぎり
	2	宝塚ダイナーズカフェここ	神戸鉄板焼きそば
	3	WRAP UP ! ?	ラップサンド、チーズドッグ、タコライス、ミネストローネ、焼き鳥丼、アップルスティック、チョコクッキーバナナ
	4	ROUTE908	キーマカレー、鶏の唐揚げ、シャカシャカポテト、ソーセージ、ソフトドリンク
	5	社長のからあげ	唐揚げ、唐揚げ丼
	6	la terza casa Calma	サーモンとアボカド、クリームチーズの特性丼、ロールキャベツ、唐揚げ弁当、ソフトドリンク

HYOGO-KOBE 2022



10/22^土 10:00~18:00
屋外展示は17時まで
10/23^日 10:00~15:30

ぼうさいと
こくたい

同時開催

HAT 神戸の訓練イベント ALL HAT。
今年は、ぼうさいこくたい開催に
合わせ、拡張開催!



20
YEARS
of
DRI

ALL HAT ひょうご防災フェスタ 2022



人と防災未来センター
両日無料開館!



開催場所

HAT 神戸、ぼうさいこくたいにおける屋外エリア
(人と防災未来センター敷地 およびなぎさ公園内) で展開します。



注目!コンテンツ
Pick Up!



1 10/22 12:1X? 大地震発生! みんなでシェイクアウト訓練!
神戸市の防災行政無線から訓練情報が流れます。みなさん、ご参加ください! 事前登録もお願いします。

2

実践!
デモ訓練

▶ 応急給水 10/22 10:00-14:00 by 神戸市水道局
▶ 高所救出 & 一斉放水 10/23 14:20 by 神戸市消防局
貴重な機会を共有しよう!

3

ALL HAT ひとぼうステージ
トーク&ライブプログラムを終日発進 & オンライン配信!



Bloom Works
10/23
BGM²

4

豪華! 屋外展示ブース
協力団体により多彩に展開。
体験しよう!



10/22

COMING KOBE22 EXTRA

5

関連イベントもチェック!
なぎさ・脇の浜両まち協による
サテライト会場企画や、
ガイドツアーも!

※各項目の詳細い内容の特設サイトで!

<https://hitobou.com/allhat/>



主催: 第7回 HAT 神戸防災訓練実行委員会、ひょうご安全の日推進県民会議

協力:

国土交通省近畿地方整備局 神戸港湾事務所、気象庁神戸地方気象台、防衛省自衛隊兵庫地方協力本部、兵庫県危機管理部、兵庫県広域防災センター、兵庫県産業労働部観光局観光振興課、兵庫県警察、兵庫県立舞子高等学校、神戸市危機管理室、神戸市消防局 中央消防署、神戸市消防局 市民防災総合センター、神戸市水道局、日本赤十字社兵庫県支部、NHK 神戸放送局、ALL HAT 減災ヴィレッジ 出展企業・団体各社、ALL HAT ひとぼうステージ 出演・プログラム実施各位 (神戸大学地域連携推進本部、COMING KOBE 実行委員会、BGM スクエア実行委員会、他)、効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議